

郡山女子大学  
郡山女子大学短期大学部

令和6年度

# 研究業績及び社会活動

令和6年4月 ～ 令和7年3月

研究紀要編集委員会

【研究業績】(著書・論文・発表)

氏名	著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発光雑誌等又は発表学会等の名称	概要
<b>【郡山女子大学】</b>					
紺野 信弘 (学術論文)	1. Comparative study of eating behavior between patients with mental illness and healthy controls using the Japanese version of the Dutch Eating Behavior Questionnaire	共著	2024年	Asia Pac J Clin Nutr 33 (2) : 228-236	ドイツの食行動に関する質問表 (DEBQ) を日本語版に改変して精神的疾患を持つ患者と健常者の間における食行動の差異について検討した。
	(著書)				
山形 敏明 (著書)	1. 郡山市史 続編5	共著	2025年3月	郡山市	「第3節 ボランティア活動と避難所」の避難所について東日本大震災以降の郡山市における避難所の対策に関する現状と今後の課題について執筆した。
	(学術論文)				
	1. 北海道内の市町村における地域防災計画の動向に関する研究 (査読付き)	共著	2024年9月	北海道科学大学研究紀要 52巻 pp.1-6	阪神淡路大震災以降、それまで抽象的であった地域防災計画が見直された。さらに、東日本大震災や北海道胆振東部地震を契機に厳冬期など、より厳しい条件の基に計画が見直されている。また、最新のシミュレーション技術を駆使したハザードマップやARによる疑似体験で市民への防災意識啓発等も行われておりこれらの最新動向について調査した。
(その他)					
(口頭発表)					
1. 福島県における雪害対策に関する基礎的研究—落雪事故発生時の気象要因について(その3)—	共著	2024年9月	雪氷研究会 (2024・長岡) 講演要旨集	福島県内市町村の人身雪害のうち、落雪による人身事故発生日までの7日間の降雪量を分析し、波形形状ごとに分類された7グループに対し、最深積雪深の特徴との関係性を報告した。	
山本 裕詞 (著書)	1. 『郡山市史 続編5』第3編 教育・文化 第1章 教育 第2節 学校教育 3 高等学校教育	共著	2025年	郡山市	2012～2021年の10年間における郡山市内の高等学校教育の変遷、文科系部活動の全国レベルでの活動実績、進路の状況等について、主に各高等学校の学校要覧と新聞報道の内容を根拠に整理した。690～695頁
	(学術論文)				
	1. 公教育法制の変化にみる原理的矛盾—閉鎖制から開放制への転換可能性をさぐる—	単著	2025年3月31日	郡山女子大学教職年報 (第Ⅲ号)	近年の公教育法制の変化にみる教育原理上の矛盾とその問題点を指摘するとともに、そこに新たな教育可能性が潜在していることを、従来からの「教育の閉鎖制・開放制」の議論を援用して示した。
安田 純子 (学術論文)	1. 「つくる力」と「かかわる力」を育てる—郡山女子大学のキャリア教育	共著	2024年10月	日本キャリア教育学会 『研究発表論文集』第46回研究大会	「キャリアデザイン1」について授業の概要と内容を紹介し、その達成目標と成果、今後について考察した。
	(その他)				
	研究発表	共同	2024年10月	日本キャリア教育学会 第46回研究大会 (於：上越教育大学)	「キャリアデザイン1」について授業の概要と内容を紹介し、その達成目標と成果、今後について考察した。
2. 執筆 「郡山市史 続編5」第6節 市民活動	単独	2025年3月 刊行予定	郡山市	「郡山市史 続編5」において、この10年の「市民活動」について執筆した。	
小林 徹 (著書)	1. 保育士等キャリアアップ研修テキスト3 第2版 障害児保育	共著	2025年1月1日	中央法規出版 A4型114頁 (分担) pp83-105	監修：秋田喜代美、馬場耕一郎 編集：松井剛太 執筆：小林徹ほか4名 「保育士等キャリアアップ研修」のテキスト。第5章「家庭および地域との連携」を担当した。
	2. 郡山市史 続編5	共著	2025年3月	郡山市	第3編 教育・文化 第1章 教育 第2節 学校教育 4 特別支援教育 696-700頁を担当した。
	(学術論文)				
1. こどもの豊かな心と健やかな体を育む大型・創作布絵本「げんきのひみつ」の教材研究：保育・教育と特別支援教育の視点を視野に入れて	共著	2025年3月	郡山女子大学教職年報 (第Ⅲ号)	大型・創作布絵本「げんきのひみつ」を題材に、保育・教育と特別支援教育の観点から教材研究をした。(永瀬悦子・小林徹)	
野口 周一 (論文)	1. 一社会教育者の生涯 (1) 一大河平聖雄の成蹊学園における学び—	単著	2024年4月	『総合歴史教育』第58号、総合歴史教育研究会	下村湖人著『次郎物語』第5部の主要登場人物・大河無門のモデルである大河平聖雄は、湖人の愛弟子であった。その大河平について京都帝大卒業後の足取りはとらえることができるものの、それ以前は不明であった。そこを解き明かし、成蹊実務学校で中村春二の薫陶を受け、第二高等学校で学んだことまでを明らかにした。
	2. 「闘う」女の芸能にまつわる民俗学的研究について—亀井好忠著『女相撲民族誌—越境する芸能—』	野口編、共著	2024年4月	『総合歴史教育』第58号、総合歴史教育研究会	桐生市在住の民俗学者・亀井好忠氏に副題に示した研究書がある(慶友社、2012年)。その書評を公にすることに意味があると編者は考え、中世イギリス文学及び社会史研究者である下田尾誠氏に書評の労を取るべく依頼した。その成果である。
	3. 下村湖人と大河平聖雄	単著	2024年7月	『人物研究』第53号、近代人物研究会	上掲1にあげた大河平聖雄の足跡を辿るために、筆者が東北大学史料館及び成蹊学園史料館を訪ね、さらに『矢吹町史』に大河平の存在を確認するまでの経緯・経過を著した。
	4. 福島県立修練農場における大河平聖雄	単著	2024年12月	『人物研究』第54号、近代人物研究会	下村湖人の許を旅立った大河平聖雄は、福島県立修練農場に教務主任として赴任する。その大河平の教育実践がどのような経過をたどったか、湖人の『杜の協同生活記』等を用いながら論じたもの。
	(その他)				
1. 『生活の発見』誌の源流を訪ねて (上)	単著	2024年3月	『生活の発見』2024年3月号、生活の発見会	『生活の発見』誌主宰の水谷啓二は下村湖人のエッセイを纏めた『青年の思索のために』を編集、水谷を助けた永杉喜輔は『下村湖人伝』を著す。水谷と永杉の交友、そこに介在する下村、三者の交流を描いた。	

氏名	著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発刊雑誌等又は発表学会等の名称	概要
	2. 『生活の発見』誌の源流を訪ねて(下)	単著	2024年4月	『生活の発見』2024年4月号、生活の発見会	(上)に続く続編。ことに筆者が共感した教育理念について述べた。
	3. 『私の本棚：『次郎物語』第3～5部』	単著	2024年6月	『開成の杜』第124号、郡山開成学園	「私の愛読書」として、筆者が中学・高校時代に生きる縁とした同書の意味を記した。
	(学会発表) 1. 下村湖人著『次郎物語』第5部のモデルをめぐって―大河無門について(3)―	単著	2025年2月	日本比較文化学会第37回九州支部大会(於SAWARAPIA)	『次郎物語』第5部に大河無門という人物が登場する。そのモデルは大河平聖雄であり、筆者はその足跡を追う。
	2. 下村湖人著『次郎物語』第5部のモデルをめぐって―大河無門について(4)―	単著	2025年3月	日本比較文化学会2024年度東北支部大会(於戦災復興記念館)	大河無門のモデル・大河平聖雄の足跡を追う。
瀬谷 真理子 (著書)	1. 『郡山市史 続編5』第2編 社会・防災 第1章 市民生活 第2節 日常生活の変化	共著	2025年3月	郡山市	2012～2021年の10年間における郡山市民の生活状況及びその変化について、執筆した。320～330頁
	(学術論文) 1. 「高等学校家庭科技術検定被服製作4級の内容の変化から見る被服製作技術の習得に向けた課題」	単著	2025年3月	郡山女子大学研究紀要第61集	高等学校家庭科技術検定被服製作4級の内容が令和6年度より内容が変更された。このことを踏まえ、被服製作の基礎技術の定着状況から、家庭科教育における被服製作技術の習得に向けた課題を探り考察を行うとともに、家庭科技術検定の担ってきた役割について確認した。
	(その他) 1. 令和6年度「生活文化博物館講演会」井筒雅風氏について～本学とのご縁～	単著	2024年11月	本学「生活文化博物館講演会」	本学の「日本風俗史美術館」が創設された際、監修に携わりご尽力いただいた井筒雅風氏についての文献調査とフィールドワークを通じた内容を報告し、井筒雅風氏と本学とのご縁を探り、述べた。
	2. 令和6年度生活文化博物館講演会要旨：井筒雅風氏について～本学とのご縁～	単著	2025年3月	郡山開成学園生活文化博物館年報創刊号	2/11/30に実施した講演会の発表要旨。
廣野 正子 (学術論文)	1. 「介護職員の定着に関連する要因の検討―仕事満足度に注目して―」	共著	2025年3月	郡山女子大学紀要第61集	介護職員の定着との親和性が高い仕事満足度に注目し、その関連要因について総合的に検討することを目的として、特別養護老人ホームの職員251名を対象に、質問紙調査により階層的重回帰分析を実施した。 共著者：廣野正子、矢野康介、遠藤伸太郎、大石和男 本人担当部分：Ⅰ、Ⅱ、Ⅳ、Ⅴ
	(書籍) 『郡山市史 続編5』	共著	2025年3月	郡山市史編纂室	郡山市の2012年から2021年における、高齢者支援と社会福祉施設のあゆみを現代史としてまとめる。本人担当部分：第2編社会・防災、第2章保健・医療・福祉の第3節高齢者支援と、第5節社会福祉施設
	(発表) 1. 「介護職員の定着に関連する要因の検討―仕事満足度に注目して退職者と継続者の比較―」	単著	2024年9月	第27回日本福祉のまちづくり学会全国大会(札幌)	介護職員の就労状況を縦断的に把握したうえで、退職者と継続者を比較し、仕事の継続に必要な要因を検討した。
	(その他) 1. 「介護サービスの質を高めるために～介護助手普及推進事業について～」	単著	2025年1月	はあとふる・ふくしま	介護助手導入による効果検証についてメリット、デメリットをもとに具体的に解説した。
阿部 恵利子 (ポスター発表)	1. 森林自己学習支援事業成果報告会「人と木をつなぐプロジェクト」	共著	2025年1月30日	福島県林業研究センター研修本館	環境に配慮したものづくりと木材利用の学びをとおして、地域貢献につながる活動を実践し報告した。
	(その他) 1. 木の文化を育む61 森が循環する建築～リジェネラティブデザインの創造～	単著	2024年4月	林業福島No.716	建築が増えるほど森が豊かになる、リジェネラティブな事業展開について解説した。
	2. 木の文化を育む62 モノづくりで地域の魅力を発信	単著	2024年5月	林業福島No.717	地域特有の伝統や文化を継承するための木製品を創造し、紙のように繊細なデザインを活かした技術について解説した。
	3. 木の文化を育む63 古材の魅力を活かす～新たな価値の創造～	単著	2024年6月	林業福島No.718	家屋を解体した際に出た建具や古材に新たな価値を見出す再生の活路について紹介した。
	4. 木の文化を育む64 国産漆の文化を繋ぐ～漆の植栽活動「猪苗代漆林計画」～	単著	2024年7月	林業福島No.719	地域に根ざした伝統産業の価値や魅力を紹介し、木の文化を次世代へ継承するための活動について解説した。
	5. 木の文化を育む65 センスが光る「木のおもちゃ」～デュアルライフを楽しむ暮らし～	単著	2024年8月	林業福島No.720	自然と触れ合う場所や趣味の時間を充実させ、木工をとおして自分らしい暮らしを実現するデュアルライフについて紹介した。
	6. 木の文化を育む66 エコフレンドリーなモノづくり	単著	2024年9月	林業福島No.721	建具大工の技術を活かしたモノづくりをとおして、地域の果樹や木屑を有効活用した人や環境に優しい取り組みを紹介した。
	7. 木の文化を育む67 自然を飾る～地球にやさしい手づくり木工～	単著	2024年10月	林業福島No.722	里山や庭木、街路樹の小枝を活用したインテリア木工と子どもたちを対象としたクラフト体験教室等の取り組みについて解説した。
	8. 木の文化を育む68 里山の香りを世界へ発信～固有植物のアロマを活かして～	単著	2024年11月	林業福島No.723	地域の固有植物であるカヤの実のアロマを活かした蒸留酒づくりと地域資源を活用した取り組みについて解説した。
	9. 木の文化を育む69 森の香りをSNSで発信～山野草を活かした新規事業の展開～	単著	2024年12月	林業福島No.724	里山に生育する雑木や山野草に利用価値を見出した新規事業の展開について解説した。

氏名	著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発光雑誌等又は発表学会等の名称	概要
	10. 木の文化を育む70 暮らしを彩る木の道具 ～心地よいライフスタイルの創造～	単著	2025年1月	林業福島No.725	森林や里山のを活用したモノづくりと心地よいライフスタイルを実現する暮らしのあり方について紹介した。
	11. 木の文化を育む71 「竹」を活かす暮らし～五感を磨く里山体験～	単著	2025年2月	林業福島No.726	里山暮らしの知恵と地域資源を有効に活用し、五感を磨く里山体験を紹介した。
	12. 木の文化を育む72 オトナの木工体験～心と脳をリフレッシュ～	単著	2025年3月	林業福島No.727	木工をととした地域コミュニティの活性化と木の文化を伝える活動について解説した。
長田城治 (書籍)	1. 大地と生きる住まいー開墾地みる農村住宅の近代化	共著	2024年12月	創元社	開墾地移住奨励制度で展開された住環境の改善を移住家屋や共同建造物の視点から考察し、政府が目指した「理想村」実態をまとめた。第一部第三章、第二部第四章、第六章を分担執筆した。
	(口頭発表)				
	1. 福島市旧二階堂家住宅における付属屋の建築年代と建物構成	単著	2024年9月	日本建築学会大会学術講演梗概集、建築歴史・意匠、2024	福島市上島渡に所在する旧二階堂家住宅の付属屋の建築年と建物構成について報告した。
	(報告書)				
	1. 川俣町春日神社調査中間報告	単著	2025年1月	川俣町	川俣町春日神社で実施した建物実測調査と資料調査の調査成果をまとめ、作成した図面類と実測図などを収録した。
	2. 奥山家住宅調査報告書	単著	2025年3月	国見町	国見町奥山家住宅が所蔵する「材料明細書」に関する資料調査成果をまとめた報告書を作成し、建物の使用材料の特徴から建物の再評価を行った。また、その成果を踏まえた文化財建造物活用事業についても報告した。
(デザイン制作)	1. 三春たてももの探検2024イベントフライヤー製作	単著	2024年9月	三春町	三春町教育委員会と郡山女子大学生生活科学科建築デザイン専攻が主催したイベント広報用フライヤーのデザイン制作を行った。
	2. 国見たてももの探検in奥山家住宅洋館・主屋フライヤー製作	単著	2024年9月	国見町	三春町教育委員会と郡山女子大学生生活科学科建築デザイン専攻が主催したイベント広報用フライヤーのデザイン制作を行った。
島野光正 (著書)	1. 郡山市史 続編5	共著	2025年3月	郡山市	第2編 社会・防災 第2章 保健・医療・福祉 第4節 低所得者支援 390-402頁 第4章 震災復興や原発事故のその後 第4節 ボランティア活動と避難所 583-594頁、 を担当した。
	(その他)				
	「雑誌掲載」				
	1. リハビリテーション関連職の現状と展望 「2. 社会福祉士」	共著	2024年5月15日 発行	発行 医歯薬出版(株) 「JOURNAL OF CLINICAL REHABILITATION」	リハビリテーション関連職について現状と展望について連載しているうちの「2. 社会福祉士」の回を担当した。p.490-493
	「学会シンポジウム」				
	1. これからの災害対応を考える	単著	2025年3月1日	2024年度日本地域福祉学会東北部会 地域福祉セミナー	「これからの災害対応を考える」というテーマでのシンポジストとしてDWAT(災害派遣福祉チーム)について、今後の課題等について発表した。
「郡山市史編纂」					
1. 低所得者支援	単著	2024年度	郡山市史編纂室 第2章第4節	2012年から2021年までの10年間についての郡山市における「低所得者支援」について執筆する。	
2. ボランティア活動と避難所	単著	2024年度	郡山市史編纂室 第4章第3節	2012年から2021年までの10年間についての郡山市における東日本大震災と原子力発電所事故後の「ボランティアと避難所」について執筆する。	
藤村励子 (学術論文)	1. 脳性麻痺児のコミュニケーション支援に関する研究(博士論文)	単著	2024年5月15日	東北大学	脳性麻痺児に対するコミュニケーション支援について、かかわり手側の態度に着目して検討した。
大泉由美 (学術論文)	1. 「つくる力」と「かかわる力」を育てるー郡山女子大学のキャリア教育ー	共著	2024年10月	日本キャリア教育学会 『研究発表論文』第46回研究大会	「キャリアデザインI」について授業の概要と内容を紹介し、その達成目標と成果、今後について考察した。
	(その他)				
1. 「つくる力」と「かかわる力」を育てるー郡山女子大学のキャリア教育ー	共同	2024年10月	日本キャリア教育学会 第46回研究大会	「キャリアデザインI」について授業の概要と内容を紹介し、その達成目標と成果、今後について考察した。	
高橋真里 (その他)	(口頭発表)				
1. 福島県における雪害対策に関する基礎的研究ー落雪事故発生時の気象要因について(その3)ー	共著	2024年9月	雪氷研究大会(2024・長岡) 講演要旨集	福島県内市町村の人身雪害のうち、落雪による人身事故発生日までの7日間の降雪量を分析し、波形形状ごとに分類された7グループに対し、最深積雪深の特徴との関係性を報告した。	
岡部聡子 (学術論文)	1. Comparative study of eating behavior between patients with mental illness and healthy controls using the Japanese version of the Dutch Eating Behavior Questionnaire	共著	2024年5月	Asia Pac J Clin Nutr 2024;33(2):228-236	精神科患者において、既存の摂食尺度DEBQが活用できるかを検討し、健常者と比べて因子配列が異なることを明らかにした。また、BMI25以上の肥満患者において、外発的摂食尺度の尺度得点が有意に高いことが分かった。(博士論文の一部を発表)
	2. Validity and Reliability of the Child and Adolescent Version of the Iron Intake Scale (CIIS) as an Educational Tool	共著	2024年6月	Journal of Primary Care & Community Health	成人版で岡部が作成した貧血予防の栄養教育ツールである鉄摂取量評価尺度を児童版に改変した。尺度の信頼性と妥当性について明かにした。

氏名	著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発刊雑誌等又は発表学会等の名称	概要
	3. "Creative Health" linking children and community: Observations on a participatory school health project in Japan, Rwanda, Indonesia, and Cambodia	共著	2025年1月 (accepted on Jan 15, 2025)	Journal of Global Health Science	災害多発国であるアジアとアフリカ地域における児童保健教育プログラムについて実践活動報告をまとめた。BODY、ACT、FOODの3部門を日本で開発し、ルワンダ、インドネシア、カンボジアの現地事情に合わせて展開した。
	(示説発表) 1. Impact of Evacuation Life after the Great East Japan Earthquake on Social Capital in Disaster area.	共著	2024年6月25日	25th International Federation for Home Economics (IFHE) World Congress (アイルランド)	被災により避難した地域の葛尾村と避難していない地域の鏡石町について、避難生活がソーシャル・キャピタルに与える影響について尺度を用いて調査した。男女とも避難地域の葛尾村の方が、市民参加の割合が有意に少ない事が明らかとなった。
	2. 高校女子卓球部の夏バテがおこる要因について	共著	2024年9月14日	日本家政学会 東北・北海道支部第67回研究発表会	女子高校卓球部を対象として夏季期間中の暑さによる夏バテ症状がおこる要因を可視化し、生徒の現状を報告した。
大西 弘太郎	(その他) 1. のり弁当, その本質の同定とそれを規定する因子についての解析	共著	2024年9月6日	日本調理科学会 2024年度大会(鎌倉)	のり弁当を「美味しさ」、「食品ロス」という2つの点に着目して食材、調理、食味等について調査し、のり弁当の本質を洞察し、それを規定する因子について解析を行ったので報告した。
亀田 明美	(著書) 1. わかりやすい給食・栄養管理の手引き	共著	2024年12月	新日本法規出版	追録第44号において「物価高騰等に対応した学校における食事提供等の安定的な運営に向けた取組とは」を担当した。
	(学術論文) 1. Validity and Reliability of the Child and Adolescent Version of the Iron Intake Scale (CIIS) as an Educational Tool	共著	2024年6月	Journal of Primary Care & Community Health	成人版で岡部が作成した貧血予防の栄養教育ツールである鉄摂取量評価尺度を児童版に改変した。尺度の信頼性と妥当性について明かにした。
	(口頭発表) 1. デジタル化に対応した食育の推進—住民向けオンライン食育講座の実現—	共同	2024年5月25日	日本栄養改善学会東北支部	地域住民を対象とした、オンライン及び対面の両方で食育講座を実施した。実施後のアンケート調査や感想から成果や課題について考察し報告を行った。(柳沼和子、亀田明美、善方美千子、吉田朱里、佐藤朱莉)
影山 志保	(学術論文) 1. 阿武隈山地に自生するコシアブラ葉中の放射性セシウム濃度に対する樹径の影響	共同	2025年3月	郡山女子大学紀要第61集	阿武隈山地の2カ所の里山のコシアブラ群落において、幼木から成木までの葉を採取し、その放射性セシウム濃度や根元の土壌の放射性セシウム濃度、蓄積量を調べるとともに樹径を調査し、これらの関係を検討した。
	2. 環境問題に対する意識と行動について	単著	2025年3月	郡山女子大学紀要第61集	郡山開成学園の教職員と学生、生徒を対象として行った環境問題に対する意識と行動調査を解析し報告した。
	(口頭発表) 1. 猪苗代湖周辺で捕獲したライギョの放射線核種の分布	共同	2024年 5月25日～27日	日本家政学会第76回大会講演要旨集(相山女子学園大学) p.94	猪苗代湖で捕獲したライギョを部位別に解剖し、生体内の放射線の分布を調べた。2体のライギョでは部位別放射線量の分布に違いがみられ、赤筋と白筋には1族やランタノイドアクチノイド系遷移元素が多く蓄積している傾向にあった。
	2. 福島県産野生きのこの放射性セシウム濃度の動向(2023)	共同	2024年 9月3日～4日	日本きのこ学会第27回大会(米子コンベンションセンター) p.61	福島県内で採取されたキノコの放射性セシウム濃度を測定した。キノコの放射性セシウム濃度は時間が経過しても高濃度であることを報告した。
	(ポスター発表) 1. 森林自己学習支援事業成果報告会「こおりやま開成の杜復活プロジェクト」	共同	2025年1月30日	福島県林業研究センター研修本館	郡山開成学園の所有施設である総合教育園の整備、人工林の間伐、そして親子を対象にした自然観察会の実施など、一連の活動内容について報告した。
	(その他) 1. 葛尾村における地域特産品開発と食農教育	共同	2024年8月29日	福島イノベーション・コースト構想推進機構 令和6年度『復興知』事業活動報告会(まるさん・あったまるアリーナ 南相馬市)	葛尾村における本学の地域貢献活動の内容及び成果について、フリーポスターセッションにて報告を行った。
佐藤 浩明	(学術論文) 18人制バレーボールの普及に関する一考察	共同研究	2024年3月25日	聖和学園短期大学紀要第61号 pp41-49 2024	宮城県で開発されたスポーツの一つに8人制の家庭バレーボール(以下8人制)がある。8人制は1950年代に築館町周辺で始まり、県内各地で広く普及し愛好されている。本研究では8人制の歴史や特徴を整理し、生涯スポーツの一資料を得ることを目的とした。
	(その他) 学会発表 1. バレーボール、8人制バレーボール、生涯スポーツ	共同研究	2024年12月7日	宮城教育大学	地域に向けた大学スポーツクラブの運営と学生の参画について。
郡司 尚子	(学術論文) 1. 阿武隈山地に自生するコシアブラ葉中の放射性セシウム濃度に対する樹径の影響	共著	2025年3月	郡山女子大学紀要第61集	阿武隈山地に自生するコシアブラの樹径(樹齢)及び樹下土壌とコシアブラの葉中の放射性セシウム濃度を調査した。 (武地誠二、金子依里香、郡司尚子、影山志保)
	(ポスター発表) 1. 森林自己学習支援事業成果報告会「こおりやま開成の杜復活プロジェクト」	共同	2025年1月30日	福島県林業研究センター研修本館	郡山開成学園の所有施設である総合教育園の整備、人工林の間伐、そして親子を対象にした自然観察会の実施など、一連の活動内容について報告した。

氏名	著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発刊雑誌等又は発表学会等の名称	概要	
(その他)	1. 葛尾村における地域特産品開発と食農教育	共同	2024年8月29日	福島イノベーション・コースト構想推進機構 令和6年度「復興知」事業活動報告会(まるさん・あったまるアリーナ 南相馬市)	葛尾村における本学の地域貢献活動の内容及び成果について、フリーポスターセッションにて報告を行った。(郡司尚子、金子依里香、影山志保、小林澄枝、加藤雅子、柳沼和子、橋本杏菜、吉田朱里、佐藤朱莉、上遠野伶、大野絵梨子、武地誠一)	
	2. パナメイエビレシピ集発行	共同	2024年11月	星総合印刷	葛尾村産パナメイエビを活用したレシピ18品を掲載したレシピ集を制作、発行した。(郡司尚子、小野川史奈 他)	
伊藤 央奈 (著書)	1. 公衆衛生学 健康管理概論 社会・環境と健康 2025年版	共著	2025年3月	第一出版	第3章 (p31-46)、4章 (p47-61)、6章 (p85-115) について執筆した。	
	(学術論文)	1. Association Between Alcohol Use Patterns and Insomnia Symptoms or Poor Sleep Quality among Adult Women: An Internet Survey in Japan (査読付)	共著	2025年2月	Clocks & Sleep	日本の一般成人女性を対象に、アルコール関連因子と不眠症状および睡眠の質との関連を検討することを目的とした。不眠や睡眠の質に関連した項目は夜寝る前の飲酒と飲酒歴であった。特に、夜寝る前の飲酒は、不眠や睡眠の質に悪影響を及ぼす可能性が示唆された。
	(示説発表)	1. Impact of Evacuation Life after the Great East Japan Earthquake on Social Capital in Disaster area.	共著	2024年6月25日	25th International Federation for Home Economics (IFHE) World Congress (アイルランド)	被災により避難した地域の葛尾村と避難していない地域の鏡石町について、避難生活がソーシャル・キャピタルに与える影響について尺度を用いて調査した。男女とも避難地域の葛尾村の方が、市民参加の割合が有意に少ない事が明らかとなった。
	2. 企業でのエイジフレンドリーの推進～エイジフレンドリーと食生活習慣との関連～	共著	2025年3月	第95回日本衛生学会学術総会 埼玉	エイジフレンドリーに関連する食生活習慣について調査を実施した。体力的に辛いかどうかと主観的健康観、喫煙率、中食や外食の利用などの食生活、階段の昇り降り、座位からの立ち上がり、つまづくなどの体力面が関連していた。	
諏訪 雅貴 (口頭発表)	1. Associations of sedentary time, physical activity, and cardiorespiratory fitness with metabolic syndrome in Japanese industrial workers: The Toyota Motor Corporation Physical Activity and Fitness Study	共同発表	2024年9月	The 78th Annual Meeting of Japanese Society of Physical Fitness and Sports Medicine (佐賀県佐賀市・佐賀大学)	第37回日本体力医学学会賞の受賞講演。男性勤労者を対象とし、座位行動、身体活動、最大酸素摂取量とメタボリックシンドローム罹患の関係を横断的に調査した結果についてまとめた。	
	2. 長期間の自主継続型運動教室への参加状況と要支援・要介護認定の関係	共同発表	2025年3月	第26回日本健康支援学会年次学術大会 (神奈川県川崎市・Shimadzu Tokyo Innovation Plaza)	福島県伊達市で行われている期限を設定しない自主継続型の運動教室への中高齢男女の2020年度の参加頻度と、その後の新規の要支援・要介護認定または要支援・要介護度の上昇の関連性について前向きに検討した。Cox比例ハザードモデルにより解析した結果、運動教室への参加頻度が多いことは、女性において新規の要支援・要介護認定または要支援・要介護度の上昇のリスクを低減することが示された。	
星 千歳 (示説発表)	1. Impact of Evacuation Life after the Great East Japan Earthquake on Social Capital in Disaster area.	共著	2024年6月25日	25th International Federation for Home Economics (IFHE) World Congress (アイルランド)	被災により避難した地域の葛尾村と避難していない地域の鏡石町について、避難生活がソーシャル・キャピタルに与える影響について尺度を用いて調査した。男女とも避難地域の葛尾村の方が、市民参加の割合が有意に少ない事が明らかとなった。	
	2. 勤労者の疾病傾向と食生活習慣との関連	共著	2025年3月	第95回日本衛生学会学術総会 (さいたま市)	食生活習慣と疾病に関する調査を行った結果、高血圧と年齢・飲酒習慣が関連していた。若年層への減塩の介入と飲酒を含めた食生活習慣の教育が必要であることが示唆された。	
角田 真佐枝 (示説発表)	1. Impact of Evacuation Life after the Great East Japan Earthquake on Social Capital in Disaster area.	共著	2024年6月25日	25th International Federation for Home Economics (IFHE) World Congress (アイルランド)	避難生活がソーシャル・キャピタルに与える影響について尺度を用いて調査した。	
	2. Effect of combined exercise and nutrition interventions during inpatient chemotherapy in leukemia and malignant lymphoma patients: a randomized controlled trial	共著	2024年9月19日	Nutrition and Cancer	化学療法中の白血病又は悪性リンパ腫患者の身体機能と運動と栄養の併用介入の有効性を判断した。	
梅影 創 (学術論文)	1. Complete genome sequence of two isolates from long-term serial cultivation of <i>Escherichia coli</i> JCM 5491.	単著	2024年10月	<i>Microbiol Resour Announc.</i>	長期継代培養された大腸菌基準株JCM 5491株の2つの変異株の完全ゲノムを解読した。	
	2. Complete genome sequence of <i>Escherichia coli</i> JCM 5491.	単著	2024年12月	<i>Microbiol Resour Announc.</i>	食品衛生実験等でモデル大腸菌として使用されるJCM 5491株の完全ゲノムを解読した。	
	(その他)	1. ヒトDNAメチル化情報を用いた年齢評価	共著	2024年11月	DNA多型学会 第33回学術集会	ヒトDNAメチル化情報を用いた年齢評価方法について筆頭演者が口頭発表した。
柳沼 和子 (その他)	1. デジタル化に対応した食育の推進—住民向けオンライン食育講座の実現—	共同	2024年5月25日	日本栄養改善学会東北支部	地域住民を対象とした、オンライン及び対面の両方で食育講座を実施した。実施後のアンケート調査や感想から成果や課題について考察し報告を行った。(柳沼和子、亀田明美、善方美千子、吉田朱里、佐藤朱莉)	
橋本 杏菜 (示説発表)	1. Impact of Evacuation Life after the Great East Japan Earthquake on Social Capital in Disaster area.	共著	2024年6月25日	25th International Federation for Home Economics (IFHE) World Congress (アイルランド)	被災により避難した地域の葛尾村と避難していない地域の鏡石町について、避難生活がソーシャル・キャピタルに与える影響について尺度を用いて調査した。男女とも避難地域の葛尾村の方が、市民参加の割合が有意に少ない事が明らかとなった。	

氏名	著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発刊雑誌等又は発表学会等の名称	概要
吉田 朱里 (口頭発表)	1. 高校女子卓球部の夏バテがおこる要因について	共同	2024年9月14日	(一社) 日本家政学会 東北・北海道支部 第67回研究発表会	女子高校卓球部を対象として夏季期間中の暑さによる夏バテ症状がおこる要因を可視化し、生徒の現状を報告した。
	(その他) 1. デジタル化に対応した食育の推進—住民向けオンライン食育講座の実現—	共同	2024年5月25日	日本栄養改善学会東北支部	地域住民を対象とした、オンライン及び対面の両方で食育講座を実施した。実施後のアンケート調査や感想から成果や課題について考察し報告を行った。(柳沼和子、亀田明美、善方美千子、吉田朱里、佐藤朱莉)
	2. 葛尾村における地域特産品開発と食農教育	共同	2024年8月29日	福島イノベーション・コースト構想推進機構 令和6年度『復興知』事業活動報告会(まるさん・あったまるアリーナ 南相馬市)	葛尾村における本学の地域貢献活動の内容及び成果について、フリーポスターセッションにて報告を行った。(郡司尚子、金子依里香、影山志保、小林澄枝、加藤雅子、柳沼和子、橋本杏菜、吉田朱里、佐藤朱莉、上遠野伶、大野絵梨子、武地誠一)
佐藤 朱莉 (口頭発表)	1. デジタル化に対応した食育の推進—住民向けオンライン食育講座の実現—	共同	2024年5月25日	日本栄養改善学会東北支部	地域住民を対象とした、オンライン及び対面の両方で食育講座を実施した。実施後のアンケート調査や感想から成果や課題について考察し報告を行った。(柳沼和子、亀田明美、善方美千子、吉田朱里、佐藤朱莉)
柳下 結衣 (口頭発表)	1. 陸上長距離チームの栄養サポートの実践	単著	2024年12月7日	令和6年度福島県栄養士会 栄養研究発表会	A実業団陸上競技部の専属管理栄養士として、食事を通して選手たちの競技力向上に寄与した活動について紹介した。
<b>【郡山女子大学短期大学部】</b>					
齋藤 美保子 (その他)	1. ひとこと	単著	2024年9月	第223回芸術鑑賞講座 「源氏物語 歳暮の衣配り」展 配布冊子	『源氏物語』玉鬘の帖の後半、歳暮の衣配りの件が服飾史的に優れた史料であり、そこから11世紀の人間関係や政治意識が読み取れることを示し、井筒企画提供の展示の手引きとした。
	2. ひとこと	単著	2024年10月	第224回芸術鑑賞講座 「棟方志功版画展」配布冊子	棟方志功の略歴と作品の特徴を紹介し、50点近い木版画と肉筆画を間近で鑑賞する手引きとした。
	3. 令和6年度生活文化博物館講演会要旨：「源氏物語から読み解く井筒企画の宮廷装束」	単著	2025年3月	郡山開成学園生活文化博物館年報 創刊号	11/30に実施した講演会の発表要旨。井筒企画が具現化した七着の装束の中で、特に紫の上の葡萄染の小袿と明石の御方の唐風の小袿を比較し高貴な装束から、紫の上が明石の御方に嫉妬した経緯を詳らかにした。
	4. 句集「玉村」	共著	2025年3月	玉藻叢書句集	高浜虚子の指導を受けた玉藻同人栗野紅梅の晩年句集と筆者の初期句集(平成15~17年)を併せ、星野椿「玉藻」名誉主宰の序文を賜った。
會田 久仁子 (示説発表)	1. 福島県葛尾村産「凍み餅」の新たな利用法	共同研究	2024年9月7日	日本調理科学会2024年度大会	東日本大震災の復興事業の一つとして食の面から被災地を支えることを目的に、葛尾村の伝統食である凍み餅の普及を図り福島県をアピールし、伝統の継承のための人材育成の取り組みを報告した。
	2. 郷土料理に対するイメージの世代間比較と伝承に向けての課題について	共同研究	2024年9月7日	日本調理科学会2024年度大会	前報に続き、郷土料理のイメージを世代間で比較し、福島県の郷土料理を喫食実態別にグループ分けし、特徴ごとに伝え継ぐための方策を提示することを目的にアンケート調査を行った。
源川 博久 (学術論文)	1. $\alpha$ -アミラーゼ活性に対する水溶性絹タンパク質とその分解物の阻害作用	単著	2025年3月	郡山女子大学紀要第61集	<u>源川博久</u> 要旨：水溶性絹タンパク質フィブリンとセリシンが $\alpha$ -アミラーゼに及ぼす影響について検討した。その結果、ペプシン-トリプシン-キモトリプシンで分解した水溶性絹フィブリンペプチドで $\alpha$ -アミラーゼ活性の低下が認められた。
小林 澄枝 (学術論文) (ポスター発表)	1. 福島県葛尾村産「凍み餅」の新たな利用法	共同	2024年9月6・7日	一般社団法人日本調理科学会 2024年度大会(鎌倉女子大学大船キャンパス 神奈川県)	葛尾村の特産物である「凍み餅」を次世代につないでいくために、凍み餅の新しい食べ方を提案した。(金子依里香、小林澄枝、會田久仁子)
	(その他) 1. 葛尾村における地域特産品開発と食農教育	共同	2024年8月29日	福島イノベーション・コースト構想推進機構 令和6年度『復興知』事業活動報告会(まるさん・あったまるアリーナ 南相馬市)	葛尾村における本学の地域貢献活動の内容及び成果について、フリーポスターセッションにて報告を行った。(郡司尚子、金子依里香、影山志保、小林澄枝、加藤雅子、柳沼和子、橋本杏菜、星野椿(根本)、吉田朱里、佐藤朱莉、上遠野伶、大野絵梨子、武地誠一、吉田三保)
金子 依里香 (学術論文)	1. 阿武隈山地に自生するコシアブラ葉中の放射性セシウム濃度に対する樹径の影響	共著	2025年3月	郡山女子大学紀要第61集	阿武隈山地に自生するコシアブラの樹径(樹齢)及び樹下土壌とコシアブラの葉中の放射性セシウム濃度を調査した。 (武地誠一、金子依里香、郡司尚子、影山志保)
	(ポスター発表) 1. 福島県葛尾村産「凍み餅」の新たな利用法	共同	2024年9月6・7日	一般社団法人日本調理科学会2024年度大会(鎌倉女子大学大船キャンパス 神奈川県)	葛尾村の特産物である「凍み餅」を次世代につないでいくために、凍み餅の新しい食べ方を提案した。(金子依里香、小林澄枝、會田久仁子)
	(その他) 1. 葛尾村における地域特産品開発と食農教育	共同	2024年8月29日	福島イノベーション・コースト構想推進機構 令和6年度『復興知』事業活動報告会(まるさん・あったまるアリーナ 南相馬市)	葛尾村における本学の地域貢献活動の内容及び成果について、フリーポスターセッションにて報告を行った。(郡司尚子、金子依里香、影山志保、小林澄枝、加藤雅子、柳沼和子、橋本杏菜、星野椿(根本)、吉田朱里、佐藤朱莉、上遠野伶、大野絵梨子、武地誠一、吉田三保)

氏名	著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発元雑誌等又は発表学会等の名称	概要
横溝聡子 (その他) (演奏)	1. 佐野悦郎リサイタル&フルート室内楽	共	2024年12月10日	トッパンホール/東京都	R.ガッリ:《リゴレット・ファンタジー》他1曲を演奏。ピアノを担当。
山上裕子 (学術論文)	1. W.セラーズの観察論にみるエピソード記述—子ども研究の思想に関する一考察—	単著	2024年3月	郡山女子大学教職年報(第II号)	W.セラーズの観察に関する議論をとおして、保育学生のエピソード記述について、考察した論文。エピソード記述はある論理空間で承認され正当化され、自己改訂していく企てを意味することを指摘した。 (昨年度、掲載決定が業績報告提出に間に合わなかったため、今年度報告)
	2. C. S. パースの観察論に関する考察—子ども観察論としての実践可能性—	単著	2025年3月	郡山女子大学教職年報(第III号)	C. S. パース (Charles Sanders Peirce, 1839-1914) の観察に関わる言説を読み解き、子ども観察の論理として、その実践可能性を考察した。
永瀬悦子 (著書)	1. 郡山市史 続編5	共著	2025年	郡山市 郡山市史編纂室	第1章 市民生活 第5節 子どもの生活 1. 少子化対策と子ども・子育て支援の展開 2. 東日本大震災関連事故とコロナ禍における子どもたち 3. 子どもの居場所について、を執筆した。 ※2012年1月1日～2021年12月31日までの近代史
	2. 知のゆりかご 子どもの保健	共著	2025年3月	出版社 みらい	第3章 子どもの生理機能の発達 第1節 子どもの生理機能 第2節 子どものバイタルサインを執筆した。
	3. マンガと事例でポイントをつかむ 幼児教育・保育方法論	共著	2025年1月	教育情報出版	第8章 発達を援助する知識および技術 第1節 0, 1歳児の発達をふまえた援助とは 第9章 生活援助の知識および技術 第2節 排泄の援助とは
	(学術論文) 1. こどもの豊かな心と健やかな体を育む大型・創作布絵本『げんきのひみつ』の教材研究: 保育・教育と特別支援教育の観点を視野に入れて	共著	2025年3月	郡山女子大学教職年報(第III号)	大型・創作布絵本『げんきのひみつ』を題材に、保育・教育と特別支援教育の観点から教材研究をした。 (永瀬悦子・小林徹)
松田理香 (展覧会)	1. 2023現代童画会 春季展	単	2024年4月	銀座アートホール	主催: 現代童画会 作品名: 「夜更けの決意 -旅立ち-」(S8号   アクリル絵具)
	2. 2024現代童画会 選抜展 (同 巡回展)	単	2024年8月 2024年12月	銀座アートホール 原田の森ギャラリー (神戸)	主催: 現代童画会 作品名: 「青の伝承」(S20号   アクリル絵具)
	3. 第50回現代童画展	単	2024年11月	東京都美術館	主催: 現代童画会 作品名: 「intersection」(F50号   アクリル絵具)
柴田卓 (学術論文)	1. A randomized controlled trial of environmental richness on gastrointestinal symptoms, salivary cortisol, and gut microbiota in early childhood.	共著	2025年3月	Scientific reports 15(1) 8493-8493	本研究は、自然保育の生理学的効果検証を目的に公立保育施設の5歳児を対象に無作為化比較試験を実施し、その結果を報告した。 Chikako Shibata, Tomohiko Muratsubaki, Suguru Shibata and Shin Fukudo, et al.
	2. デンマークの保育実践における健康教育および身体活動に関する研究—ウェルビーイングの視点から保育教材と保育実践に着目して	共著	2025年3月	郡山女子大学紀要第61集	本稿はデンマークの保育カリキュラムと実践の中で、どのように健康教育や身体活動が実施されているか例証した。 柴田卓, 石森真由子
	3. 福島県の保育施設における戸外活動および身体活動に関する研究—質問紙調査による他県との比較からの考察	共著	2025年3月	郡山女子大学紀要第61集	本稿は他県との比較による質問紙調査を基に福島県の保育施設における戸外活動・身体活動の傾向を明らかにした。 柴田卓, 山脇功次, 柳沼真美子
	4. デンマークにおける幼児期の音楽教育に関する研究—現地訪問調査およびインタビュー調査からの考察	共著	2025年3月	郡山女子大学紀要第61集	本稿はデンマークの現地調査とインタビュー調査を基に、子どもの主体性を尊重する音楽教育の在り方について考察した。 深谷悠里絵, 柴田卓
	5. デンマークの保育実践におけるSTEAM教育に関する一考察—保育における科学教育に着目して	共著	2025年3月	自然保育学研究第7集	本稿はデンマークの保育実践におけるSTEAM教育と科学教育との関連について、カリキュラム・実践・教材から考察した。 柴田卓, 柴田千賀子
	(学会発表) 1. 学習環境としての園庭活動および自然保育を促すSTEAM教育の可能性—デンマークの保育カリキュラム・保育実践・保育教材からの考察	共同	2024年11月10日	日本自然保育学会第9回研究大会	本研究は、デンマークのカリキュラム・実践・教材を調査し、園庭活動とSTEAM教育の可能性について考察した。 柴田卓, 柴田千賀子
	2. 保育施設における自然保育および身体活動・戸外活動の実施状況の地域比較—福島県を含む東北3県と長野県に着目して	共同	2024年11月10日	日本自然保育学会第9回研究大会	本研究は、福島県、宮城県、岩手県、長野県の自然保育・身体活動・戸外活動の実施状況について質問紙調査を基に検討した。 柴田卓, 山脇功次
	3. 幼児教育とSTEAM教育の親和性を考える—自然の素材や教材および地域資源を活用した事例を基に	単	2024年10月6日	日本教材学会第36回研究発表大会	本研究は、幼児教育とSTEAM教育との関連性や親和性を探るため、事例を基に例証を試みた。
	4. デンマークの保育実践における健康および身体活動の位置づけに関する研究—保育カリキュラムおよび現地調査からの考察—	共同	2024年9月1日	日本幼児体育学会第20回大会	本研究は、デンマークの保育実践の中でどのように健康教育や身体活動が実践されているかについて、現地調査から考察した。 柴田卓, 石森真由子
	5. A RANDOMIZED CONTROLLED TRIAL EVALUATING THE EFFECT OF ENVIRONMENTAL RICHNESS ON GASTROINTESTINAL SYMPTOMS, SALIVARY CORTISOL, AND GUT MICROBIOTA IN EARLY CHILDHOOD	共同	2024年5月21日	Pediatric Gastroenterology & Developmental Biology (PGDB) Section Distinguished Abstract Plenary: Digestive Disease Week@ 2024 (DDW2024) at the Washington, D.C.	本研究は、自然保育の生理学的効果を探るため、公立保育施設の5歳児を対象に無作為化比較試験を実施しその結果を報告した。 Chikako Shibata, Suguru Shibata, Shin Fukudo, 他4名

氏名	著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発売雑誌等又は発表学会等の名称	概要
安部 高太朗	(著書) 保育は(計画)できるのか:「小川博久・佐伯胖論争」再読	共著	2024年9月	学術研究出版	小川・佐伯論争で争点となった保育の計画性に関して再検討した。
深谷 悠里絵	(学術論文) 1. デンマークにおける幼児期の音楽教育に関する研究～現地訪問調査およびインタビュー調査からの考察～ (その他) 1. 合唱(課題曲)指導法講習会中学校の部ピアノ伴奏 2. 心のハーモニー合唱交流事業「小・中学校校女声の部」発声基礎講座 講師:小針絢子 ピアノ伴奏 3. 心のハーモニー合唱交流事業「小学校の部」 講師:武田雅博 ピアノ伴奏 4. 心のハーモニー指導者養成事業「合唱指導者養成」 講師:相澤直人 ピアノ伴奏 5. 心のハーモニー合唱交流事業「中学校発声の部」 講師:羽山晃生 ピアノ伴奏 6. 心のハーモニー合唱交流事業「中学校の部」 講師:上西一郎 ピアノ伴奏 7. 白河市立白河第四小学校音楽鑑賞教室 8. 郡山大槻東公民館 公民館講座音楽鑑賞 9. 桃見台クリスマスコンサート 10. 第140回ホールコンサート×100万人のクラシックライブ	共著 共 共 共 共 共 共 共 共	2025年3月 2024年5月 2024年5月 2024年6月 2024年6月 2024年6月 2024年7月 2024年11月 2024年11月 2024年12月 2025年1月	郡山女子大学紀要第61集 郡山市音楽教育研究会 けんしん郡山文化センター 郡山市教育委員会 けんしん郡山文化センター 郡山市教育委員会 けんしん郡山文化センター 郡山市教育委員会 けんしん郡山文化センター 郡山市教育委員会 ミュージカルがくと館 郡山市教育委員会 ミュージカルがくと館 白河市立白河第四小学校 体育館 大槻東公民館 桃見台公民館 市民音楽祭主催行事 郡山市総合地方卸売市場管理棟2階会議室	デンマークの現地調査と保育者へのインタビュー調査を基に、子どもの主体性を尊重する音楽教育の在り方および保育者の意識について検討した。 令和6年度NHK全国学校音楽コンクール課題曲を用いた効果的な合唱指導の在り方について 郡山市内の児童生徒が、基本的な発声法や課題曲をもとにした歌唱表現の工夫等について学ぶ。 郡山市内の児童生徒が、基本的な発声法や課題曲をもとにした歌唱表現の工夫等について学ぶ。 郡山市内の小中学校における、指導者へ向けた課題曲のアナリゼについて 郡山市内の児童生徒が、基本的な発声法や課題曲をもとにした歌唱表現の工夫等について学ぶ。 ピアノ連弾 ヴァイオリン ピアノ伴奏 ピアノ連弾 ヴァイオリン・声楽 ピアノ伴奏 ピアノ連弾 ヴァイオリン ピアノ伴奏
山脇 功次	(学術論文) 1. To Rwanda from Japan, and back: "Creative Health" BODY workshops in urban and rural primary schools 2. 福島県の保育施設における戸外活動および身体活動に関する研究—質問紙調査による他県との比較からの考察 3. 保育施設における自然保育および身体活動・戸外活動の実施状況の地域比較—福島県を含む東北3県と長野県に着目して (学会発表) 1. Challenges in disaster management for inclusive childcare practices in Japan 2. 保育施設における自然保育および身体活動・戸外活動の実施状況の地域比較—福島県を含む東北3県と長野県に着目して (その他) 子どもを取り巻く現状～すぐそこにある子どもの貧困～	共著 共著 共著 共同 共同 単	2024年7月 2025年3月 2025年3月 2024年7月 2024年11月 2024年5月	Africa Health Journals 郡山女子大学紀要第61集 自然保育学研究第7集 1st Global Health Connect Conference 日本自然保育学会第9回研究大会 郡山市私立幼稚園・認定こども園連合会	This study reports on health education activities in urban and rural areas in Rwanda. <a href="#">Koji Yamawaki</a> , Aya Goto, Casey Dai, Emmanuel Mwemezi Safina, Kenneth E Nolle 本稿は他県との比較による質問紙調査を基に福島県の保育施設における戸外活動・身体活動の傾向を明らかにした。 柴田 卓, <a href="#">山脇 功次</a> , 柳沼真美子 本稿は福島県・宮城県・岩手県・長野県の自然保育、身体活動、外遊び・戸外活動の実施状況について質問紙調査から検討した。 柴田 卓, <a href="#">山脇 功次</a> This study traces the origins of Japan's special education system and explores the provision of equipping staff with the specific knowledge and skills necessary to care for children with disabilities under the age of 5 during disasters in Japan. <a href="#">Koji Yamawaki</a> , Aya Goto, Kimiko Ueda 本研究は、福島県、宮城県、岩手県、長野県の自然保育・身体活動・戸外活動の実施状況について質問紙調査を基に検討した。 柴田 卓, <a href="#">山脇 功次</a> 保育現場にて貧困家庭への支援の方法とチェックポイントについて発表。
佐々木 郁子	(著書) 1. 保育者養成校の学生のための実習ガイドブック～教育実習・保育実習のための完全ガイド～ (学術論文) 1. 保育学生による「読み聞かせの絵本」選択の傾向と特徴～絵本の読み聞かせの自己教育モデルにおける絵本選択の相～	単著 単著	2025年3月 2024年8月	学術図書出版社 日本基礎教育学会誌 第29号	保育者養成校の学生が実習を通じて理論と実践を結びつける重要性を説いた。実習の各段階での具体的な準備が学生の不安を軽減し、より充実した学びを促進することを目的とした。 実習における絵本の読み聞かせの「絵本の選定」に着目して、保育学生が絵本を選択する際の傾向や特徴を分析した。
柳 沼 真美子	(学術論文) 1. 福島県の保育施設における戸外活動および身体活動に関する研究—質問紙調査による他県との比較からの考察	共著	2025年3月	郡山女子大学紀要第61集	本稿は他県との比較による質問紙調査を基に福島県の保育施設における戸外活動・身体活動の傾向を明らかにした。 柴田卓, <a href="#">山脇功次</a> , 柳沼真美子
桑野 聡	(学術論文) 1. 【翻訳】ゲルト・アルトホフ「デモンストラーションと演出—ヨーロッパ中世の公共圏におけるコミュニケーションのルール」(註) 2. ハインリヒ獅子公と獅子紋章—ヴェルフェンの家紋誕生の探究—	単 単	2025年3月 2025年3月	『郡山女子大学紀要』第61集 『郡山女子大学紀要』第61集	同紀要第60集に掲載したG.アルトホフ氏の1993年発表論文の翻訳本文部分と「解題」の続編として、頁数の関係から掲載できなかった詳細な註部分の翻訳を掲載した。 専攻科学生の指導のために、中世ヨーロッパ貴族の紋章研究を整理し、ハインリヒ獅子公をはじめとするヴェルフェンのライオン紋章の成立過程を整理し、13世紀半ば頃までの3～4代の間に紋章として「二頭の歩きライオン(レオバルト)」と「立ちライオン」像が確立したことを跡付けた。

氏名	著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発光雑誌等又は発表学会等の名称	概要
何 燕 生 (著書) (福島寅太郎)	1. 『道元与中国禅思想』	単	2024年8月	北京・中国大百科全書出版社	『道元与中国禅思想』の中国語版。付録に最近10数年の間に発表した関連の論文を収録した。422頁。
	2. 「道元の思想」	共同企画	2024年9月	岩波書店『思想』2024年9月号 (No.1205)	岩波書店の『思想』で仏教の思想家を単独で扱うのは今回の道元がはじめてのことである。学問的な道元研究の端緒となった和辻哲郎の『沙門道元』が発表されてから、100年にあたる年の企画であるため、画期的である。
	(学術論文)				
	1. 日本で隠元禪師を探す—仙台両足山大年寺の「黄檗縁」—	単	2024年3月	『東北の禅仏教 黄檗宗大年寺関係資料集』pp.12-18、東北文化資料叢書第十四集(近世思想史・宗教史資料)、東北大学大学院文学研究科東北文化研究室。	中国語論文の日本語訳。李詩晴訳、佐々木隼相校正。仙台にある大年寺の歴史と黄檗宗の諸僧との関係、関係墨蹟、絵画などについて、現地調査をもとに執筆したもの。
	2. 禅と人類学の地平—岩田慶治の道元論を読み直す—	単	2024年9月	岩波書店『思想』2024年9月号 (No.1205) pp.194-225.	東南アジアでのフィールドワークから独自のアニミズム論を提唱したことで広く知られている人類学者・岩田慶治の道元論を読み直し、禅と人類学の結合によって見えてくる地平とは何かを探った。
	3. 「討議」自己・他者・世界—道元の思想を読み直す—	共 (企画・司会)	2024年9月	岩波書店『思想』2024年9月号 (No.1205) pp.16-42.	日本の人文学分野の第一線で活躍している京都大学教授の出口康夫・東京大学名誉教授末木文美士の両氏による討議を企画し、司会を務めた。自己・他者・世界という概念に焦点を当てながら、道元思想の現代的意義について討議してもらった。
	4. 特集にあたって	単	2024年9月	岩波書店『思想』2024年9月号 (No.1205)	「道元の思想」特集号について、企画の趣旨、学問的意義、今後への展望などについて述べた。和辻哲郎の「沙門道元」発表より、ちょうど100年にあたる節目の試みである。とくに海外の執筆者の参加の意味を強調した。
	(その他)				
	(研究会関係)				
	1. 京都大学人文科学研究所共同研究「禅研究班」第10回研究会	共	2024年4月27日	京都大学人文科学研究所共同研究禅研究班主催	本人が課題責任者を務める共同研究課題の本年度最初の研究会(通算第10回)。午前は「弁道話」の会談を担当。午後は沈庭(班員・武漢大准教授)、山田俊(班員・熊本県立大教授)による研究報告。コメンテーターはWittern Christian(副班長、京大教授)、福谷彬(班員・京大准教授)。本人は企画運営、総合司会を担当。対面とオンラインによるハイブリット形式。
	2. 京都大学人文科学研究所共同研究「禅研究班」第11回研究会	共	2024年6月22日	京都大学人文科学研究所共同研究禅研究班主催	午前は「弁道話」の会談を担当。午後は重田みち(班員・京都芸術大教授)、私本人(何燕生)による研究報告。コメンテーターは吉村均(中村元東方研究所専任研究員)、水野友晴(班員・関西大学教授)。本人は発表のほかに、企画運営および総合司会を担当。対面とオンラインによるハイブリット形式。
	3. 京都大学人文科学研究所共同研究「禅研究班」第12回研究会	共	2024年10月26日	京都大学人文科学研究所共同研究禅研究班主催	午前は「弁道話」の会談を担当。午後は和田有希子(班員・早稲田大招聘研究員)、飯島孝良(花園大学国際禅学研究所副所長)による研究報告。コメンテーターは末木文美士(研究班顧問・国際日文研名誉教授)、ダヴァン・ディディエ(班員・国文学研究資料館准教授)。本人は企画運営および総合司会を担当。対面とオンラインによるハイブリット形式。
	4. 京都大学人文科学研究所共同研究「禅研究班」第13回研究会	共	2024年12月23日	京都大学人文科学研究所共同研究禅研究班主催	午前は「弁道話」の会談を担当。午後は程正(駒沢大学教授)、古勝隆一(所内班員・京大教授)による研究発表。コメンテーターはWittern Christian(副班長・京大教授)本人は企画運営および総合司会を担当。対面とオンラインによるハイブリット形式。
	5. 国際シンポジウム「語りえぬものを語る—グローバル時代における禅の言葉と翻訳」	共	2025年2月15日	京都大学人文科学研究所主催、科研基盤B(24k00013)「禅の言葉と翻訳に関する学際的研究—『正法眼蔵』の諸外国語訳の比較分析を通して」が共催	私が班長を務める共同研究「禅研究班」の最終年度に当たる成果発表会。京大人文研分館(北白川)を会場に、海外の招へい研究者を含め、発表者8名、コメンテーター8名、司会者3名、総評1名、総勢19名による公開国際シンポジウム。当日は延べ40名の方が来場。会場であった場所は湯川秀樹博士がノーベル賞を受賞した時の記念講演会と同じ会場であった。有終の美を飾るには余るものがあった。
	(学会関係)				
1. 『正法眼蔵』の言葉—中国語訳を通じて	単	2024年9月8日	印度学仏教学第75回学術大会	パネルB「仮字『正法眼蔵』への多角的アプローチの可能性を探る」(代表:石井清純)における発表。分担者として受けている科研基盤Cの最終の成果報告。	
2. 日本企業管理中の宗教哲学	単	2024年11月22日	2024年東方管理文化国際学術研究会 in 香港中文大学	松下幸之助・稲盛和夫の経営哲学に見られる宗教哲学について論じた。	
(講演関係)					
1. 日本企業経営における宗教哲学	単	2024年12月5日	香港中文学EBMAによる日本文化研修プログラム。Inホテルオークラ京都	学生47名、スタッフ5名総勢52名の研修団。初日の研修プログラムで講演を行った。松下幸之助、稲盛和夫の宗教経営思想、宮崎駿のジブリ映画における宗教的要素を取り上げて話題にした。	
2. 語りえぬものを語る—道元の禅学の世界	単	2024年12月16日	華東師範大学哲学系「思想と文化」第146回、慕後席明納第24回	道元の禅思想における言葉とは何か、言説化と身体的行為を中心に述べた。オンライン	
3. 「異類中行」を抱きしめて—柳田聖山の禅研究を読む	単	2025年3月5日	花園大学国際禅学研究所特別講演会	ダルマ・臨済・初期中国の禅宗史および日本の良寛・一休の研究で一家をなした柳田聖山における禅研究の諸業績を通じて、柳田聖山が抱いていた問題意識、求めていた禅の原風景とは何かについて考えた。	

氏名	著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発売雑誌等又は発表学会等の名称	概要
齊藤弘久 (著書)	1. 第6回郡山開成学園美術展	単著	2024年8月	うすい百貨店	「Ahin-Saka 24」 ジクレー
	2. 第96回新構造展	単著	2024年11月	六本木 国立新美術館	「Alnitak 24」 「Anilam 24」 ジクレー
	3. 第69回福島県水彩画展	単著	2025年1月	けんしん郡山文化センター	「Ahin-Saka 25」 ジクレー
會田容弘 (学術論文)	1. 「山形大学教育学部歴史学研究会考古学部会が果たした社会的役割」	単著	2024年10月	『山形考古』第54号pp.33-48	昭和26年に結成された山形大学教育学部歴史学研究会は当初社会科教員をめざす学生が中心であったが、全学的な組織となった。在学生・卒業生が山形県の埋蔵文化財の保護・調査研究を担った社会的役割を検証した。
	2. 「笹山原遺跡No.16第23次発掘調査」	結城駿・館内魁生・工藤雄一郎・鹿又喜隆・藤原妃敏と共著	2024年12月	『第38回東北日本の旧石器文化を語る会予稿集』pp.	2024年5月に実施した笹山原遺跡No.16の旧石器時代の資料の位置付けを行った。
	3. 「戦後高等教育における「考古学」の位置付けと今日的役割」	単著	2025年3月	郡山女子大学紀要第61集	日本の大学教育における考古学の位置付けを明治期にさかのぼり検証し、学校教育による歴史科教員養成から埋蔵文化財保護行政、博物館学芸員の人材養成を担ったことを論証した。
	(その他) 1. 「考古学実習報告－笹山原遺跡No.16第22次発掘調査－」	結城駿と共著	2025年3月	『地域創成学科報告集』第6集	2024年5月に実施した笹山原遺跡No.16の考古学実習内容を報告するとともに、旧石器時代、平安時代資料の記述を行った。
知野愛 (学術論文)	1950年代福島県における生活改善グループと生活課題－生活に関する問題解決型学習の実践－	単著	2025年3月	郡山女子大学紀要第61集、pp.41-55	1950年代、特に昭和30年前後の福島県における生活改善普及事業の一環として、生活改善グループが各地で誕生し活動を開始していた。その改善課題と改善率について等、資料「普及のあゆみ」に基づいて図表にまとめ考察した。
小松太志 (展覧会)	1. 第74回モダンアート展	単著	2024年4月	東京都美術館 (東京都台東区)	モダンアート協会の美術公募展。作品名:「TRACE」(S100号、CG・プリント)
	2. 第38回モダンアート福島支部展	単著	2024年8月	郡山市民ふれあいプラザ (郡山市)	モダンアート協会福島支部主催の会員による美術展。作品名:「Flow」(S100号、CG・プリント)
	3. 第6回郡山開成学園美術展	単著	2024年8月	うすい百貨店 8階ギャラリー	郡山開成学園主催による美術展。作品名:「Flow II」(S10号、CG・プリント)
	(デザイン) 1. 復興の灯火プロジェクトの広報ツール	単著	2025年3月	復興の灯火プロジェクト	復興の灯火プロジェクトのチラシ、ポスター等を制作した。
山口猛 (学術論文)	1. 「郡山女子大学における学習用パソコンのBring Your Own Device (BYOD) 導入に伴うパソコン研修会の評価と改善検討」	共	2025年3月	郡山女子大学紀要第61集	郡山女子大学におけるBYOD初年度である2024年度のパソコン研修実施内容の検討結果と、新入生アンケートによる研修内容の評価と改善策の検討結果をまとめた。
	2. ICT活用指導力向上を目指した教員養成の対応状況と課題	単	2025年3月	郡山女子大学教職年報 (第Ⅲ号)	ICT活用指導力向上を目指した教員養成の対応状況と課題を検討した。現在の授業内容では取り扱いが困難なICT活用力の存在を明らかに、今後実施すべき対応策を考察した。
仲田佐和子 (その他)	展示 1. 「郡山女子大学短期大学部地域創成学科発掘ガールー2024年度調査の記録」	共同	2024年9月7日～10月6日	大安場史跡公園ガイダンス施設	2001年から継続実施した笹山原遺跡No.16の調査記録と2024年度の成果をパネルと出土資料により紹介、展示した。
	2. 「発掘ガールーキ土器!! 発掘の秘密展」	共同	2025年1月18日～2月16日	大安場史跡公園ガイダンス施設	2024年度発掘調査の記録とその後の整理作業をパネルと道具等により紹介、展示した。
黒沼令 (著書)	1. 黒沼令 彫刻展 思索と行為	共	2024年6月	喜多方市美術館39項 (分担) 26-29項	編集: 喜多方市美術館 著者: 白井奈美 喜多方市美術館主催の展覧会「黒沼令 彫刻展 思索と行為」の展覧会図録として、出品作品21点の図版と展覧会概要、解説、作家の言葉をまとめて作成した。
	(その他) 1. 彫刻三人展	単	2024年4月	あだたら高原美術館－ao－福島県二本松市	共同展示会。「漂う人」(220×120×60cm 櫛・桂・水木)、他3点出品。
	2. 第98回国展彫刻部	単	2024年5月	国立新美術館 東京都中央区	団体公募展。「観照」(240×100×80cm 櫛) 出品。
	3. 黒沼令 彫刻展 思索と行為	単	2024年6月～7月	喜多方市美術館 福島県喜多方市	喜多方市美術館主催の企画展。「観照」(240×100×80cm 櫛)「魄」(270×180×100cm 山桜・櫛)、他19点出品。
	4. 第78回福島県総合美術展	単	2024年6月	福島県文化センター 福島県福島市	福島県主催の公募展。「ベルソナ」(40×20×15cm 櫛) 出品。
	5. 郡山市立美術館常設展示	単	2024年7月	郡山市立美術館 福島県郡山市	郡山市立美術館常設展示出品協力。「小説家」(75×30×40cm 櫛)、他1点出品。
	6. 第6回開成学園美術展	単	2024年8月	うすい百貨店 福島県郡山市	共同展示会。「弧月」(95×45×45cm 櫛) 出品。
	7. 風月の芸術祭in白河2024	単	2024年8月～9月	南湖森林公園 福島県白河市	白河市で実施したアートイベント。「魄」(270×180×120cm 山桜・櫛)、「弧月」(95×45×45cm 櫛) 出品。

氏名	著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発光雑誌等又は発表学会等の名称	概要
	8. 梁川美術館 開館30周年記念展~水光る町彫刻家太田良平から現在まで~	単	2024年 9月~10月	伊達市梁川美術館 福島県伊達市	共同展示会。「刹那」(210×100×100cm 樺・楠)、他2点出品。
	9. 国展秋季展	単	2024年11月	東京都美術館 東京都台東区	共同展示会。「彫刻家」(70×25×30cm 樺) 出品。
	10. 彫刻と本	単	2024年 11月~12月	Cafe&Gallery1231 岩手県奥州市	個展。「哲学者」(70×20×30cm 樺)、他14点出品。
	11. 第60回福島県彫刻会展	単	2024年11月	伊達市梁川美術館 福島県伊達市	共同展示会。「静思」(170×50×35cm 樺・桂)、他1点出品。
	12. 第68回郡山市総合美術展	単	2024年12月	郡山市文化センター 福島県郡山市	郡山市主催の公募展。審査員として「彫刻家」(70×25×30cm 樺) 出品。
佐藤 愛未	(学術論文) 1. 近世後期会津藩の藩士教育の変容—八代藩主松平容敬の教育政策を中心に—	単著	2025年3月	郡山女子大学紀要第61集	会津藩における教育体制について、会津藩八代藩主松平容敬の藩政における藩士および藩士の子弟教育政策を、七代容衆時代の政策比較および、容敬の教育観をもとに検討を行った。
	(その他) 1. 展示「発掘ガール ドキ土器!! 発掘の秘密展」	共同	2025年1月18日 ~2月16日	大安場史跡公園ガイダンス施設	2024年度発掘調査の記録とその後の整理作業をパネルと道具等により紹介、展示した。
佐々木 達矢	(学術論文) 1. The evolution of cooperation and diversity under integrated indirect reciprocity	共著	2024年4月	<i>Games</i> , 15(2), 15	間接互恵性による協力の進化ゲームにおいて協力と非協力が安定共存できる新戦略を提案・分析した。本人担当部分：全般。共著者名：佐々木達矢、内田智士、岡田勇、山本仁志
	2. Evolution of "pay-it-forward" in the presence of the temptation to free-ride	共著	2024年4月	<i>Games</i> , 15(3), 16	協力の進化ゲームにおいて、プロスペクト理論を基にした認知の歪みを考慮することで、従来は進化困難だった恩送り戦略が生存できること示した。本人担当部分：主にモデル分析。共著者名：内田智士、佐々木達矢、山本仁志、岡田勇
	3. Clarifying social norms which have robustness against reputation costs and defector invasion in indirect reciprocity	共著	2024年10月	<i>Scientific Reports</i> , 14(1), 25073	間接互恵性による協力の進化ゲームにおいて協力が進化できる条件を、評判管理コストが無視できない場合について分析した。本人担当部分：主にモデル構築と分析。共著者名：山本仁志、岡田勇、佐々木達矢、内田智士
	(その他) 「学会発表」 (国際会議) 1. Integrated indirect reciprocity and the evolution of open society	単著	2024年7月	The Mathematical Models in Ecology and Evolution (MMEE) 2024 (於：ウィーン大学, Vienna, Austria)	間接互恵性による協力の進化ゲームにおいて協力と非協力が安定共存できる新戦略を提案・分析した。
	(国内会議) 1. Integrated indirect reciprocity can generate stable coexistence of cooperation and defection in sizable groups	単著	2024年9月	2024年度日本数理生物学会年会 (JSMB 2024) (於：北海道大学)	間接互恵性による協力の進化ゲームにおいて協力と非協力が安定共存できる新戦略を提案・分析した。
杉本 ゆか	(著書) 1. 『読書と豊かな人間性』	共著	2024年10月	近畿大学	本著では、「第1章読書の意義と目的」、「第2章読書と心(読書の習慣形成)」、「第3章発達段階に応じた読書の指導と計画」の執筆を担当した。
米本 順子	(その他) 1. 第98回国展	単	2024年 5月1日~13日	東京都国立新美術館	F130号「I'm here」入選
	2. 第6回郡山開成学園美術展(グループ展)	単	2024年 8月7日~15日	うすい百貨店	S50号「迎る」、S8号「海水」2点出品
	3. 第68回郡山市総合美術展	単	2024年11月26日 ~12月1日(前期)	けんしん郡山文化センター	S100号「Voice」洋画部門市長賞受賞
	4. 展示「発掘ガール ドキ土器!! 発掘の秘密展」	共同	2025年1月18日 ~2月16日	大安場史跡公園ガイダンス施設	2024年度発掘調査の記録とその後の整理作業をパネルと道具等により紹介、展示した。
	5. 第8回コレカラノヒトたち展(グループ展)	単	2025年 2月17日~22日	銀座ギャラリーあづま	F20号、F4号 2点出品

【社会活動】

氏名	審議会・委員会等名	職務・活動内容
関口 修	医療法人安積保養園 あさかホスピタル 一般財団法人大学・短期大学基準協会 日本私立短期大学協会 私立短期大学教育振興会 全私学連合代表者会議 日本私立大学協会 日本私立大学協会東北支部 福島第一原発事故被害のため原発被害福島県私立大学・短期大学連合会	理事 事業計画、収支予算に関する検討 顧問・理事 大学・短期大学教育活動等についての総合的な評価、教育研究水準の向上、質的充実を図る。 名誉会長 私学の特質を保持しつつ、会員相互の協力により私立短期大学の自主性、公共性を高め健全な発展に寄与。 会長 短期大学の法制面での経常費補助金確保等対応。 短期大学代表 全私学の振興、諸施策等について協議。 評議員 理事 私立大学教育、学術研究の発展、振興に関すること。 顧問 福島県内の私立大学、私立短期大学の連携を図り、高等教育の振興に資す。
<b>【郡山女子大学】</b>		
山形 敏明	全国建築系大学教育連絡協議会 日本建築学会協力委員 知的生産者選定支援機構評議員 郡山市史編さん推進委員会・防災ワークショップ委員	「全国建築系大学教育連絡協議会」総会において連絡代表責任者として議案について審議する。 建築学会の事業・催し物等の広報および運営・事業に対する提言提案等を行う。 知的生産者選定支援機構の適正な運営確保に協力する。 郡山市史編さん推進委員会・防災ワークショップ会議に参加し、郡山市史続編5・通史編(2024年度発行)への検討を行う。
山本 裕詞	NPO法人 発達支援機関 リソースセンター ONE (ワン) 東北教育学会	役員(監事)。発達障害児の自立支援を目的に、発達相談や治療教育及び講演活動等を行う当該法人において、理事の業務執行状況を監査した。 理事として会の運営に携わった。
安田 純子	福島県留学生交流推進会議運営委員会 郡山市国際交流協会運営委員会 福島県医療福祉関連教育施設協議会 オーストラリア学会	運営委員 留学生交流事業協力、会議等の出席 運営委員 郡山市における国際交流事業の推進協力、会議等の出席 理事 事業協力、会議等の出席、ネクストホープ研修・教員研修準備 ネクストホープ研修準備運営 理事 オーストラリア学会の運営、日豪交流、オーストラリア大使館内豪日交流基金との連携協力
小林 徹	(委員等) 郡山市教育支援委員会委員 三春町子ども・子育て支援会議委員(会長) 福島県立郡山養護学校・福島県総合療育センター肢体不自由児後援会理事 郡山市史編さん推進委員会「教育・文化ワークショップ」委員 地域家庭教育推進県中ブロック会議 アドバイザー 【郡山市版】 「幼保小の架け橋プログラム」策定検討委員会アドバイザー 特別支援教育実践研究学会 理事 (研修会講師等) 郡山市 令和6年度第3回幼稚園・保育所・小学校合同研修会 福島県保育士等キャリアアップ研修  令和6年度県中域内家庭教育支援者研修会  第41回(令和6年度)芳山教育研究発表会	郡山市立小・中学校に就学・在学する心身に障がいがある児童生徒の教育的措置や適正な就学について検討した。 「三春町子ども・子育て支援事業計画」を策定する会議で学識経験者として会長を務めた。 肢体不自由児の教育や活動を支援するために組織された会に理事として委嘱された。 郡山市史の編さんのための委員会に教育関係の学識経験者として参加した。 県中地域の家庭教育を推進するために設置された会議にアドバイザーとして参加した。 郡山市が実施を計画している「幼保小の架け橋プログラム」を検討する委員会にアドバイザーとして参加した。 第2期理事として留任した。任期は2025年10月まで。 令和6年7月17日(水)会場:郡山市役所特別会議室 講演「特別支援教育について～個に応じた支援を図るための幼保小連携」 令和6年8月28日(水)会場:郡山市労働福祉会館 令和6年11月8日(金)令和6年12月6日(金)オンライン開催 科目名「障害児保育」 令和6年11月30日(土)会場:郡山市労働福祉会館 講演「つながるつなげるコミュニケーション」 令和7年1月31日(金)会場:郡山市立芳山小学校 知的障がい学級における研究授業の指導助言
野口 周一	総合歴史教育研究会理事 比較文化史研究会理事 郡山女子大学家政学部生活科学科主催市民講座担当(2024年8月24日)  下村湖人生誕140周年記念講演(2024年10月6日、於小金井文化財センター)	学会創立50余年の伝統を持つ本学会の運営、学会誌査読等を受け持つ。 本学会の運営、学会誌査読等を受け持つ。 「福島県立矢吹原修練農場創立期の教育理念とその現実」と題して、1935年前後の下村湖人と弟子の大河平聖雄の塾風教育の意味を考えた。当時の世相が命令で動く青年を育てることを目的とする中で、下村・大河平の教育理念は時流とそれに乗る教育者によって蹂躪されていく現実を明らかにした。 「浴恩館の青年教育」と題して、下村湖人が浴恩館で実践した教育について語った。その教育とは、従来の伝統等にとらわれず、自ら考え、判断し、行動することの重要性にあった。
瀬谷 真理子	福島大学 福島県文化振興審議会 福島県社会教育委員の会議 公益財団法人ヨークベニマル文化教育事業財団文化教育事業実施委員	人間発達文化学類「家庭科教育法Ⅲ」を担当した。 委員・福島県の文化振興を図るため設置された委員会において、本県の文化振興の在り方等について審議に携わる。(任期:令和6年11月7日～令和8年11月6日) 社会教育委員・本県における社会教育推進の在り方についての審議に携わる。(任期:令和6年6月20日～令和8年6月19日) 委員・文化教育事業の実施に向けた検討を行うとともに、選考についても意見を付してまとめる。(任期:2年 令和5年6月～令和7年)
長谷川 貴弘	一般財団法人 大学・短期大学基準協会 大学認証評価委員会  2024年度第1学期放送大学面接授業【専門科目(社会と産業)】(2024年4月13日、14日)	大学認証評価委員会委員として、委員会活動に従事した。  放送大学福島学習センターにおいて、受講生対象に「経済と家庭経営」について講義を行った。

氏名	審議会・委員会等名	職務・活動内容	
廣野正子	令和6年度「福祉の将来を担う人材育成事業」出前講座	講師 6/25 福島県立会津西陵高等学校 健康福祉コース2年生に対して、「介護の基本的な考え方」をテーマに2時間の講義をした。	
	令和6年度介護助手等普及推進事業 研修	講師 9/2 福島県社会福祉協議会主催による介護事業所を対象にした講義とグループワークのサポート、研修全体の総括をした。	
	介護福祉士試験委員	委員 国家試験の担当科目から、出題問題の作成と選定会議において作成した問題の概要や意義を確認した。	
	令和6年度郡山市内大学との協定の基づく連携事業	委員 郡山市教育委員会と連携し、大学生ボランティア事業の推進を行う。	
	郡山市介護保険運営協議会	委員 第九次郡山市高齢者福祉計画・郡山市介護保険事業計画の進捗状況に係る現状について協議した。	
	郡山市地域密着型サービス等運営委員会	委員 郡山市における地域密着型サービス等の整備状況、地域包括ケアシステムの構築について協議した。	
	郡山市地方社会福祉審議会	委員 高齢者福祉専門分科会の副専門文科学長として、社会福祉に関する事項を専門家の立場から調査・審議に携わる。	
	社会福祉法人郡山福祉会	評議員 社会福祉法人の運営が適切になされているか、評議員会においての審議	
	ふたば・こおりやまふれあい祭り	アロマハンドトリートメントの企画と学生指導により出店をすることで、地域来場者との交流を果たした。	
	福島県介護事業者認証評価制度検討委員会	委員長 介護職員が働きやすい環境の整備と定着促進のために導入される、福島県認証評価制度の詳細について検討を進めた。	
阿部恵利子	日本建築学会技術報告集 査読	日本建築学会技術報告集に投稿された技術報告の査読を行った。	
	日本建築学会協力委員	建築学会の事業・催し物等の広報および運営・事業に対する提言提案を行った。	
	福島県森林審議会委員	福島県における森林・林業の現地調査および計画等について審議した。	
	福島県森林林業緑化協会 『林業福島』執筆	森林・林業の新しい技術や知識など広範囲にわたる情報を発信した。	
	知的生産者選定支援機構評議員	知的生産者選定支援機構の適正な運営確保に協力した。	
	福島県森林自己学習支援事業	「人と木をつなぐプロジェクト」として採択され、福島県の森林環境の保全と木材利用を推進する活動を通して、地域貢献につながる活動をした。	
	小野町地域創生総合戦略ワークショップ	「地域が目指すべき理想像」について、住民・地域の関わり方を話し合い、まちづくりの計画策定に向けた議論・講評を行った。 9月30日、10月17日、11月7日実施（小野町多目的研修集会施設 大ホール）	
	長田城治	日本建築学会 東北支部歴史・意匠部会 委員	歴史的建造物の調査、建物の保存計画や要望書の提出、各種講演活動などの運営に委員として携わった。
		日本建築学会 民家小委員会 委員	民家に関する文献やフィールド調査およびシンポジウムなどの開催による研究成果の報告などを行った。
		日本建築学会 建築歴史・意匠本委員会 情報システム対応WG 委員	日本建築学会建築歴史・意匠本委員会の専用HPの更新、迅速な情報発信などを行った。
日本建築学会 東北支部 東北建築賞作品賞 選考委員		日本建築学会東北支部が主催する東北建築賞作品賞の選考委員を務めた。	
日本建築学会 文化財建造物防災体制検討特別研究委員会 福島県責任者		文化財建造物の災害時の取りまとめなどを行う福島県の責任担当者として活動した。	
福島市文化財保護審議会 委員		福島市文化財保護審議会の委員として、同市文化財の指定・解除等の審議および文化財的価値の精査を行った。	
国見町文化財保護審議会 委員		国見町文化財保護審議会の委員として、同町文化財の指定・解除等の審議および文化財的価値の精査を行った。	
川俣町文化財保護審議会 委員		川俣町文化財保護審議会の委員として、同町文化財の指定・解除等の審議および文化財的価値の精査を行った。	
三春町歴史民俗資料館運営協議会 委員		三春町歴史民俗資料館運営協議会の委員として、同資料館の運営について協議し、三春町の歴史や文化の向上にむけた取り組みを提案した。	
福島市文化財保存活用地域計画策定協議会 委員		福島市文化財保存活用地域計画策定のための協議会の委員として、文化財を活かしたまちづくりに関して意見等を行った。	
三春町文化財保存活用地域計画策定協議会 委員	三春町文化財保存活用地域計画策定のための協議会の委員として、文化財を活かしたまちづくりに関して意見等を行った。		
旧広瀬座再整備指導委員会 委員	国指定重要文化財旧広瀬座の再整備事業に建築史専門の委員として関わり、保存修理工事の方針や耐震補強や活用工事について協議した。		
熱中小学校 社会科教員	NPO法人はじまりの学校		
受託調査事業：大宮神社本殿の市指定文化財に指定するための建造物調査	福島市大宮神社本殿の実測調査を実施し、平面図や立面図、配置図の他、彫刻面の作成と本殿の建築的特徴を把握した。委託者：福島市		
受託調査事業：国見町奥山家住宅再調査事業	国見町奥山家住宅が所蔵する『材料明細書』の資料調査を行い、建物の使用材料の特徴から建物を再評価する調査事業を実践した。また、その成果を踏まえた文化財建造物活用事業を実践した。委託者：国見町		
受託調査事業：川俣町指定文化財調査－春日神社拝殿等	川俣町の春日神社拝殿・長床等の建物実測調査を行い、平面図や立面図、配置図の他、各部位の彫刻撮影およびその図面化、長床を中心とした建築的特徴の把握を行った。委託者：川俣町		
受託調査事業：三春町旧吉田家住宅活用業務委託	三春町に所在する旧吉田家住宅主屋（現文化伝承館）および紫雲閣の文化財建造物の活用事業とその活用のための建物調査、講演会の実施などを行った。委託者：三春町		
受託調査事業：南会津町田島の石造建造物実測調査	南会津町田島地区に現存する石造医院と木造住宅の実測調査を実施し、建物の価値等を明らかにした。委託者：合同会社設計まちづくりテント		
受託調査事業：樋渡神社および三匹獅子舞の魅力度向上に関する事業	三春町樋渡に所在する樋渡神社社殿の歴史的地域的価値を精査するための調査と三匹獅子舞のキャラクター製作などを行った。委託者：樋渡三匹獅子舞保存会		

氏名	審議会・委員会等名	職務・活動内容
	受託調査事業：神明神社本殿と彫刻に関する調査事業	福島市の神明神社本殿の建物の特徴を精査し、藤原光信の銘がある脇障子彫刻の価値について調査を行った。委託者：福島市下鳥渡渡地区
	シンポジウム：「近代建築史研究の磁場実践編第3回」「地域性」の評価指標をめぐって その2 - 近現代建造物緊急重点調査事業（文化庁）の調査結果をもとに	近代建築史研究の磁場実践編第3回のシンポジウムに登壇し、福島県における近現代建造物緊急重点調査事業（文化庁）の調査報告の講演とパネルディスカッションのパネラーとして近現代建造物の地域性について意見交換を行った。主催：日本建築学会建築歴史・意匠委員会近代建築史小委員会
	シンポジウム：第3回文化財保存活用地域計画フォーラム「三春の歴史的建物を再発見」	三春町の文化財保存活用地域計画策定に向けた講演会で、「民家・神社のみかた、のこしかた」と題した講演を行った。主催：三春町
	シンポジウム：第15回国見歴史まちづくりシンポジウム「国見町の歴史まちづくりの10年」	国見町歴史的風致維持向上計画の10年間の活動を振り返るシンポジウムで、「国見町の歴史的建造物の魅力とこれからの可能性」と題した講演を行った。主催：国見町企画調整課
	講演会：熱中小学校白老分校10期授業	北海道白老郡白老町で開校する熱中小学校白老分校の第10期入学生に対する授業を担当し、日本建築の魅力について授業を行った。主催：熱中小学校白老分校
	講演会：川俣町春日神社の測量成果と今後の課題	川俣町の指定文化財である春日神社拝殿に関する調査報告会を開催し、建造物の価値や魅力を学生と共に伝えた。なお、もみじ会で取り組んだ川俣高校のリノベーションを中心とした消滅可能性都市脱却計画に関する設計提案についても学生が発表した。主催：川俣町
	講演会：神明神社調査報告会	福島市下鳥渡に所在する神明神社の建築的、彫刻的価値について学生と教員が発表し、今後の文化財指定や登録に関する可能性をお話しした。主催：福島市下鳥渡地区
	講習会：ヘリテージマネージャー育成講習会講師	講習「登録有形文化財申請に係る「所見」の書き方ほか」 講習「歴史的建造物の調査報告書・登録申請書 - 近現代建造物緊急調査事業にみる歴史的建造物の利活用と保存等」 主催：福島県歴史的建造物保全活用推進協議会
	報告会：福島県における近現代建造物の現状と文化財活用 - 近現代建造物緊急重点調査事業調査成果報告	令和6年度福島県市町村文化財保護担当会議に参加し、近現代建造物緊急重点調査事業の調査成果報告を行った。主催：福島県教育庁文化財課
	イベント企画運営：三春たてももの探検2024	国登録有形文化財旧吉田家住宅主屋・紫雲閣の文化財活用イベントを企画・運営し、建物の魅力を発信する子ども向けのワークショップや大人向けの建物解説などを行った。共催：三春町教育委員会、郡山女子大学生生活科学科建築デザイン専攻
	イベント企画運営：国見たてももの探検in奥山家住宅洋館・主屋	国登録有形文化財奥山家住宅洋館・主屋の文化財活用イベントを企画・運営し、建物の魅力を発信する子ども向けのワークショップや大人向けの建物解説などを行った。共催：国見町歴史まちづくりフォーラム、郡山女子大学生生活科学科建築デザイン専攻
	イベント企画：あつかし歴史館特別展「国見町における地域のお宝建造物」	郡山女子大学の博物館実習生による町内の魅力的な建造物についてまとめたパネル展を企画し、建築史から見たまちなかにある建造物の魅力を紹介し、展示解説会も行った。主催：国見町企画調整課、協力：郡山女子大学生生活科学科建築デザイン専攻
	イベント：松田家住宅（貝田）国登録有形文化財（建造物）登録証プレート除幕式&一般公開	国登録有形文化財松田家住宅の登録証プレート除幕式に参加し、その後の一般公開では特別解説を行った。主催：国見町企画調整課
	イベント：くにも案内人研修講座	国見の魅力発信するガイドボランティアの研修講座で、学生が講師を務めた建物案内のアドバイザーを行い、説明などを行った。主催：国見町企画調整課
島野光正	福島県ヤングケアラー専門家会議	福島県児童家庭課主催委員 福島県のヤングケアラー対策の促進に関する会議へ9月10日に出席する。支援者への研修会の講師等を担った。
	福島県広域災害福祉支援ネットワーク協議会	会長 大規模災害時の福島県、職能団体、種別協議会による組織で、令和6年能登半島地震の際に県災害派遣福祉チームへの協力要請等を行った。
	福島県災害ケースマネジメント推進ネットワーク会議	福島県危機管理部災害対策課主催委員 福島県社会福祉士会による委員の推薦を受けて会議へ参加する。県の災害ケースマネジメントの推進に関する委員会。
	NPO法人福島県福祉サービス振興会 福祉サービス第三者評価審査委員会 郡山市介護認定審査委員会	委員 当該法人が実施した福祉サービス第三者評価の審査を行う。 委員長職務代理 郡山市の介護保険における要支援認定・要介護認定の審査判定を行う。
	特定非営利活動法人あいえるの会	監事 障がい者の法人の活動及び会計についての業務監査を行う。
	日本災害福祉研究会	福祉・防災関係者、行政職員、研究者等による災害福祉の実践、研究、人材育成を目指す会として令和6年9月1日設立し、理事として参画する。
	公益社団法人日本社会福祉士会ケアマネジメント実践記録様式の見直し作業委員会	委員 日本社会福祉士会が開発した「ケアマネジメント実践記録様式」について介護保険制度改正に合わせた見直し作業を行う。
	福島県国民健康保険団体連合会ケアプラン点検モデル事業 <講師等> 福島県ヤングケアラー支援者研修会 福島県ヤングケアラー支援体制強化事業（専門員派遣）	県国保連の標記事業のアドバイザーとしてケアプラン点検モデル事業についての助言を行った。 福島県主催ヤングケアラー支援における教育、障がい、介護、子育て支援、医療、行政関係者向けの連携のために、令和6年11月26日実施した研修会でグループワークの助言者を担当した。 福島県児童家庭課の標記事業により研修会への講師として派遣される。 令和6年8月19日全会津介護支援専門員協会、11月22日NPO法人子育て支援グループこころ、令和7年1月28日二本松市ヤングケアラーセミナー講演会、令和7年3月4日伊達地方介護支援専門員連絡協議会で講師を行う。
	日本災害福祉研究会シンポジウム	福祉関係者、防災関係者、行政職員、研究者等を対象として阪神淡路大震災から30年ということで令和7年1月12日に兵庫県立大学防災キャンパスでシンポジウムを開催する。その際にシンポジウムのコーディネーターの役割を担う。
	あさかの学園大学 福島県立医科大学保健科学部	郡山市の高齢者のためのあさかの学園で「介護保険と住民の役割」について講師を行う。 非常勤講師 「災害リハビリテーション」講義を3コマを担当する。
	ボラリス保健看護学院	非常勤講師 「自助・互助を支える」の講義を4コマ担当する。
	福島県県南地域介護支援専門員協会研修会	県南地域の介護支援専門員、地域包括支援センター職員、行政職員を対象にヤングケアラーについての研修会で講師を行う。令和6年6月29日に実施した。
	福島県社会福祉士会県北・相双方部ソーシャルワークセミナー	「能登半島地震支援と東日本大震災支援から今後の自然災害時の支援を考える」をテーマに令和6年6月8日にセミナーが開催され、基調講演とシンポジウムのコーディネーターを担当する。
	郡山市介護支援専門員連絡協議会研修会	郡山市内の介護支援専門員連絡協議会の会員を対象に令和6年5月18日に「権利擁護と意思決定支援」をテーマにした研修会の講師を担当する。

氏名	審議会・委員会等名	職務・活動内容
	災害派遣福祉チーム (DWAT) 研修	福島県社会福祉課主催の災害派遣福祉チームの登録研修、スキルアップ研修の講師やファシリテーターを担う。
Daniel Horner (ダニエル・ホーナー)	Miharu Town's Junior High School English Oratorical Committee and Contest  Koriyama City's Junior High School English Oratorical Committee and Contest  University of Wisconsin - Eau Claire (UWEC) Alumni Association	Chief judge of the English speech contest and committee member. My duties are to recruit new judges, preside over the speech contest, advise students on ways to become better public speakers, and advise the committee on ways to ameliorate the contest.  My duties are to preside over the speech contest, advise the judges about judging the contest, advise students on ways to become better public speakers, and advise the committee on ways to improve the contest.  Coordination of international exchanges of information, cultural heritage, teachers, and students between Fukushima and the University of Wisconsin - Eau Claire, Wisconsin State, USA.
近内直美	福島県社会福祉協議会運営適正化委員会  本宮市地域連携事業  福島県高齢者虐待対応専門職チーム  郡山市市民協働のまちづくり推進協議会  郡山市第1層協議体  特別非営利活動法人 あいえるの会  社会福祉法人 笑風会  社会福祉法人 郡山市社会福祉事業団  社会福祉法人 安積福祉会  谷田川流域及び逢瀬川流域水害対策協議会 (福島県)	委員 社会福祉サービスに関する苦情解決への助言や訪問を行い、福祉サービスの質の向上に協力した。研修会では、以下の内容の協力を行った。 第1回 講師「権利擁護における意思決定支援について」(職員対象) 第2回 講師「権利擁護における意思決定支援」(管理者対象)  「本宮市高齢者いきいき交流事業」開催における企画、運営に当大学の学生と共に参加し、高齢者生きがい対策事業に協力した。  運営委員 福島県社会福祉士会と福島県弁護士会が協同し、虐待対応に関する研修の企画と運営、市町村の虐待ケースへの助言などについて協力を行った。  副会長 副会長として次期、郡山市協働推進基本計画の推進について助言等を行った。また、ユニバーサルデザイン専門部会では部会長として市の公共機関のユニバーサルデザインの推進に協力した。  構成員 郡山市の地域共生社会構築に関する助言を行い、その推進に協力した。  理事 障がい者福祉の向上に関する事業の経営及び運営について助言など協力した。  入所判定第三者委員 特別養護老人ホームの入所判定について、公正・公平かつ適切な入所判定がなされるよう協力した。  評議委員 施設の経営及び運営が事業を評価し、より良い運営及び経営がなされるよう助言を行った。  監事 法人に所属する施設等の経営及び運営状況の確認を行い、効率的経営への助言及びサービスの質の向上に関する提案を行った。  委員 国・県市町村が共同で取り組む水害対策事業について、災害対策及び災害支援について助言を行った。
佐藤久美	世界音楽療法連盟 (World Federation of Music Therapy) 広報委員会	本連盟広報委員として、年次報告書を含むウェブサイト掲載情報の収集や編集を担当した。
大泉由美	第2回「ふたば・こおりやまふれあい祭り」への参加	「ふたば・こおりやまふれあい祭り」に出展し、天然染料を使用した染色体験を行った。(2024年12月14日)
藤田京子	福島県喀痰吸引等基本研修会  福祉の将来を担う人材育成事業  本宮市地域推進事業	2023年度福島県喀痰吸引基本研修会において不特定多数を対象に講義を行った。(2024年6月21日・28日)  福祉の将来を担う人材育成事業として、福島県立会津西陵高等学校において、「高齢者の食事に関するところからのしくみと自立に向けて介護について」の出席講座を行った。(2024年9月24日)  本宮市高齢者いきいき交流事業開催における企画・運営に協力した。
高橋真里	郡山市主催「こおりやまサマーナイトマルシェ」 福島県建築士会 郡山支部 郡山女子大学生活科学科主催 市民講座「暮らしの1ページ」	お菓子の家づくりワークショップを行った。(令和6年7月14日)  「地震と建築物」をテーマに講演を行った。(令和6年8月24日)
岡部聡子	郡山市総合地方卸市場運営協議会委員  『鏡石町民健診における食生活状況と活動量(運動との関係)調査』、鏡石町連携協定における食生活・健康支援調査事業 2024年9月8日～9月14日  令和6年度日本赤十字福島血液センター職員研修会 講師 2024年6月10日  令和6年度 福島心のケアセンター全体研修 講師 2024年7月23日  令和6年度第2回特別研修(キャリアアップ分野4) 講師 2024年8月21日  令和6年度精神科栄養士協議会研修会講師 2024年9月19日  郡山市総合地方卸市場 市場料理教室 講師 2024年9月21日  JICA課題別研修 講師 2024年11月15日 鹿児島医科大学  小・中学校における食育活動 2024年7月5日 鏡石第二小学校 2024年12月9日 鏡石第一小学校 2025年2月18日 鏡石中学校	協議会委員を務めた。  町民の健康な生活に寄与する活動を進めるため、「食と健康」の健康増進に向けて生活・栄養に関する実態調査を鏡石町から委託を受けて実施した。  「貧血のヘルスリテラシーを考えると、日赤献血事業に携わる職員向けに赤十字福島血液センターにて講演を行った。  「食の選択力～心も身体も健康アップ～」と題して、心のケアセンターの職員向けに本学で講演を行った。  「健やかな成長のために～幼児期から摂りたい不足している栄養素～」と題して幼稚園教諭・保育士向けにZOOMにて講演を行った。  「精神科版栄養教育ツールの考案について」と題して精神科栄養士協議会会員に向けて社会福祉センターで講演を行った。  「季節の食材のアレンジレシピ」と題して、卸市場に流通する生鮮食料品を利用した料理教室を卸市場内の調理室にて親子対象に実施した。  「島嶼地域における地域保健から学ぶ生活習慣病対策」のJICA研修会において海外からの研修生に対して日本の食育について講義した。  鏡石町内の小学生や中学生を対象として鉄摂取量を向上させる栄養教育活動を実施した。
西山慶治	福島県立医科大学保健科学部の講義  温知会看護学院看護科並びに仁愛高等学校第一専攻科と看護専攻科(会津若松市)に解剖学の講	非常勤講師として保健科学部の学生に、解剖学の内分泌と感覚器の2分野を講義。2回分ずつ計4回分実施(2024.10.1)  非常勤講師として看護学系の学生に解剖学の講義(11回)を行った(2024.4.15～2024.4.17)。

氏名	審議会・委員会等名	職務・活動内容
水野時子	公益信託 棚木宇巳子記念奨学英基金運営委員	運営委員長として運営に携わった。
	公益財団法人郡山市健康振興財団理事	公益財団法人郡山市健康振興財団の理事を務めた。
	『高齢者の食生活と健康』講師	郡山地区社会福祉協議会菜根支部主催の「いきいきサロン」において、『高齢者の食生活と健康』の講師を務めた。 6月26日（水）郡山市薫地域公民館において開催
	食育講座「簡単おやつ作り教室」講師	小学生の親子を対象に、おやつ作り教室の講師を務めた。 8月31日（土）郡山市開成地区公民館において開催
	本宮市健康力アップ応援事業「食の力講座（食育）」講師	本宮市健康力アップ応援事業「食の力講座」において、保育園児を対象に食育を行った。 7月16日（火）たかぎ保育園、10月8日（火）まゆみ保育園、10月21日（火）五百川幼保総合施設、11月12日（火）みずいろ保育園
亀田明美	「まるごとけんこう財団の健康教室」講師	郡山市民を対象に、『カルシウムと骨密度～セルフチェックで骨骨健康～』の講師を務めた。 12月21日（土）郡山市保健所において開催
	魚のレシピ開発に係る講師	郡山市の依頼により、若い世代の魚食に対する関心を高め水産物の消費拡大を推進するため、簡単魚料理レシピを提案した。
	公益社団法人福島県栄養士会県南支部支部長	公益社団法人福島県栄養士会県南支部支部長として、支部活動を推進した。
	郡山市中学校給食会運営委員会	委員：郡山市中学校給食会運営委員会において、給食の年間実施回数、給食費、給食用食材選定等の給食運営に関する協議を行った。
	西郷村食育推進検討委員会	委員：福島県西郷村主催の食育推進事業に委員として関わった。
影山志保	福島県学校栄養職員初任者研修	講師：福島県教育センター主催の研修会において、令和5年度新規採用の学校栄養職員の方に、「学校におけるアレルギー」について講義を行なった。
	健康教育に係る専門家派遣事業	講師：福島県教育委員会主催の専門家派遣事業の講師として、県内4箇所の小・中学校において食育講演会を行った。
	令和6年度福島県保育士等キャリアアップ研修	講師：令和5年度福島県保育士等キャリアアップ研修、食育・アレルギー対応の分野において講師を務めた。
	2024年度課題別研修 「マルチセクターで取り組む食を通じた栄養改善」	講師：独立行政法人国際協力機構筑波センター主催の研修において鏡石町で行った食育プログラムについて発表した。
	水美栄基金水環境保全活動事業 「裏磐梯・猪苗代地域の鉄と動植物」	福島県水大気環境課による裏磐梯湖沼地域の研究予算を用いた。裏磐梯・猪苗代地域にはさまざまな形態の鉄が存在している。鉄の形態と動植物の関連について調査を行った。 (令和6年4月1日から現在に至る)
影山志保	福島県公害審査会審査委員	福島県内の公害紛争処理を担当した。 (令和6年4月1日から現在に至る)
	大学等の「復興知」を活用した人材育成基盤構築事業	郡山女子大学として採択され、事業名「葛尾村における地域特産品開発と食農教育」として、村内でエゴマ、オヤマボクチ、コシアブラ、タラノキの栽培や商品開発等の活動を行った。 (令和6年4月1日から現在に至る)
	プロジェクトD（どんぐり）	(公益財団法人)日本環境協会の支援により震災以降、郡山市田村町にどんぐりの苗を植え、環境委員会として森林を育成する活動に協力している。 (令和6年6月15日)
	うつくしまCOOLサポーター養成講座	福島県環境共生課・福島県地球温暖化防止推進センターによるうつくしまCOOLサポーター養成研修会の開催に協力した。 (令和6年7月14日 郡山女子大学)
	令和6年度地域創生総合支援事業 ふくしまSDGs未来博	福島民報社主催によるふくしまSDGs未来博に環境委員会として参加し、本学の取り組みについて紹介した。 (令和6年8月11日・12日 ビッグバレットふくしま)
	森林自己学習支援事業「郡山開成の杜復活プロジェクト」	福島県森林計画課による補助金を活用し、郡山市磐梯熱海町にある郡山女子大学総合教育園の活用のための環境調査を行っている。今年度、総合教育園で探検・自然観察会を行った。 (令和6年8月24日、9月14日、10月26日 郡山総合教育園)
	うつくしまCOOLサポーター養成研修会 (実践研修) ファシリテーター	福島県環境共生課・福島県地球温暖化防止推進センターによるうつくしまCOOLサポーター養成研修会(実践研修)でファシリテーターを務めた。 (令和6年9月21日 郡山女子大学)
	第13回ふくしま再生可能エネルギー産業フェア（REIFふくしま）	福島県、公益財団法人福島県産業振興センター主催による第12回ふくしま再生可能エネルギー産業フェアに環境委員会として参加し、本学の取り組みについて紹介した。 (令和6年10月17日・18日 ビッグバレットふくしま)
	令和6年度中学生・高校生の科学・技術研究論文 野口英世賞審査会審査委員	福島県内の中学生・高校生の科学・技術研究論文の審査委員を務めた。 (令和6年10月17日 福島県教育委員会)
	葛尾村地域復興支援	葛尾村「あぜりあ市」、標葉祭り、「葛尾村盆踊り」および「かつらお感謝祭」の運営に協力し、葛尾村の特産品であるエゴマを活用した商品を紹介した。オヤマボクチ・エゴマの栽培を行った。 (令和6年6月22日、11月9日)
佐藤浩明	放送大学面接授業 生活と福祉「調理方法と食品衛生」	さまざまな食中毒に関する問題を調理の視点から考え、除菌が可能なかどうかについて解説した。 (令和6年12月14日・15日 放送大学福島学習センター)
	国民体育大会福島県少年女子バレーボール監督	福島県少年女子バレーボール監督、試合、練習等の計画をすること
	郡司尚子	非常勤講師。「食品製造」の講義7コマを担当した。
	福島県農業総合センター農業短期大学校	『葛尾村における地域特産品開発と食農教育』として、村内でエゴマ、オヤマボクチ、コシアブラ、タラノキの栽培や商品開発等の活動を行った。
	大学等の「復興知」を活用した人材育成基盤構築事業	健康栄養学学生と共に、アルファ電子の「うめめん」を活用した調理実習、レシピ開発などを行った。9月12、13日には、ドリームラボ上伊豆島にて代表学生のレシピを活用し試食会を実施した。
郡司尚子	「うめめん」を活用したレシピ開発支援	(株)HANERU葛尾に協力し、葛尾村内で養殖を始めた「バナメイエビ」のレシピ開発支援を行い、村の活性化、復興支援を行った。
	葛尾村産「バナメイエビ」のレシピ開発支援	セイフティライザー（株）（郡山市）に協力し、学生と共に都路町産「ナツハゼ」を活用した商品開発支援を行った。
	都路町産「ナツハゼ」を活用した商品開発支援	山乃屋（二本松市）に協力し、エゴマ納豆の商品化に向けて支援を行った。
	「えごま納豆」の商品化支援	葛尾村「あぜりあ市」および「標葉祭り」、「盆踊り」、「恵みの感謝祭」等の運営に協力した。葛尾村の特産品であるエゴマを活用した商品の紹介を行った。（ツール・ド・かつらお2024年4月21日、あぜりあ市2024年6月16日、標葉祭り2024年8月3日、盆踊り2024年8月14日、東北大学主催すずこま収穫祭2024年8月24日、感謝祭2024年11月3日）また、オヤマボクチ・エゴマの栽培を行った。（定植2024年6月22日、刈取り2024年11月9日）
	葛尾村地域復興支援	

氏名	審議会・委員会等名	職務・活動内容
	令和6年度大学連携会議	葛尾村内で活動する大学（日本大学工学部、東北大学、東京大学、立命館大学）と今年度の村内での活動内容と次年度計画案について報告し、意見交換を行った。（2024年8月8日、2025年1月31日）
	東京農業大学主催「料理教室」への協力	相馬市立飯豊小学校で開催された枝豆を活用した料理教室に学生と参加し運営に協力した。（2024年8月30日 相馬市）
	東京大学との「いちじく」の六次産業化の取り組み支援	東京大学大学院新領域創成科学研究科、味菜ひろば・よりみち、駒ヶ嶺小学校といちじくの六次化商品の開発を行った。2024年7月6日、11月9日、2月6日、2月25日に現地にて活動を行った。
	郡山女子大学学生との「料理教室」の開催	葛尾村で栽培した「えごま」を使用し、学生が開発したレシピを活用した料理教室を開催した。（2025年2月9日 葛尾村）
	プロジェクトD（どんぐり）	（公益財団法人）日本環境協会の支援により震災以降、郡山市田村町にどんぐりの苗を植え、環境委員会として森林を育成する活動に協力している。（2024年6月15日 田村町）
	うつくしまCOOLサポーター養成講座	福島県環境共生課・福島県地球温暖化防止推進センターによるうつくしまCOOLサポーター養成講座の開催に協力した。（2024年7月14日 郡山女子大学）
	令和6年度地域創生総合支援事業 ふくしまSDGs未来博	福島民報社主催によるふくしまSDGs未来博に環境委員会として参加し、本学の取り組みについて紹介した。（2024年8月11日・12日 ビッグパレットふくしま）
	森林自己学習支援事業「郡山開成の杜復活プロジェクト」	福島県森林計画課による補助金を活用し、郡山市磐梯熱海町にある郡山女子大学総合教育園の活用のための環境調査を行っている。今年度、総合教育園で探検・自然観察会を行った。（2024年8月24日、9月14日、10月26日 郡山総合教育園）
	うつくしまCOOLサポーター養成研修会 （実践研修）ファシリテーター	福島県環境共生課・福島県地球温暖化防止推進センターによるうつくしまCOOLサポーター養成研修会（実践研修）でファシリテーターを務めた。（2024年9月21日 郡山女子大学）
	第13回ふくしま再生可能エネルギー産業フェア（REIFふくしま）	福島県、公益財団法人福島県産業振興センター主催による第12回ふくしま再生可能エネルギー産業フェアに環境委員会として参加し、本学の取り組みについて紹介した。（2024年10月17日・18日 ビッグパレットふくしま）
	二本松実業高等学校	講師。生活文化科「地域活性化に関する講演及び技術講習会」にて講師を務めた。（2025年2月27日 二本松実業高等学校）
伊藤 央 奈	郡山市社会教育委員会	委員として「地域学校協働活動推進事業の在り方」についての協議を行った。 任期：令和5年6月1日～令和7年5月31日
	郡山市健康づくり推進懇談会	委員として「第三次みなぎる健康生きいきおこりやま21」の作成に携わった。 任期：令和4年1月28日～3年間
	全国健康保険協会福島支部 健康づくり推進協議会	委員として保健事業について意見を述べた。 任期：令和4年5月23日～令和6年3月31日
	「鏡石町民健診における食生活状況と活動量（運動との関係）調査」、 鏡石町連携協定における食生活・健康支援調査事業	町民の健康な生活に寄与する活動を進めるため、「食と健康」の健康増進に向けて生活・栄養に関する実態調査を鏡石町から委託を受けて実施した。2024年9月8日～9月14日
	チャレンジふくしま県民運動 大学と連携した広報・PR事業	チャレンジふくしま県民運動推進協議会主催。杉妻会館で提供するヘルシーメニューを開発した。メニュー提供時にPR活動を行った。 令和6年7月～令和7年3月
	全国健康保険協会福島支部 保健師・管理栄養士研修会	全国健康保険協会福島支部に所属する保健師・管理栄養士を対象とした研修会で講師を務めた。 令和6年8月30日
	郡山市保健所 食育推進ボランティアスキルアップ研修会	食育推進ボランティア対象のスキルアップ研修会で講師を務めた。 令和6年9月3日
	朝日ラバー株式会社の社員への健康増進の取り組み	社員を対象に健康増進の取り組みとして、食生活や健康に関する掲示物の作成や昼食時間を活用した健康セミナーなどを実施した。 令和6年4月～令和7年3月
	学校法人石川義塾の学生寮の栄養管理	学校法人石川義塾の学生寮の献立を作成し、入寮する生徒に対しての栄養管理を行った。 令和6年4月～令和7年3月
諏訪 雅 貴	日本体力医学会	評議員
	日本体力医学会東北地方会	役員
	郡山市あさかの学園大学	「生涯学習講座」の講師として、「身体活動や体力と健康」のテーマで講義を行った。 （令和6年9月20日および11月27日 郡山駅西口再開発ビルビッグアイ）
	公益財団法人福島県スポーツ協会	「令和6年度公益財団法人福島県スポーツ協会認定スポーツ栄養士養成・スキルアップ講習会」の講師として「運動による持久力と骨格筋の代謝機能の適応～運動生理学～」のテーマで講義を行った。 （令和6年7月14日 福島県青少年会館）
	福島大学	共生システム理工学類および食農学類非常勤講師「健康運動科学実習」、「スポーツ実習」
	「鏡石町民健診における食生活状況と活動量（運動との関係）調査」、 鏡石町連携協定における食生活・健康支援調査事業 2024/9/8～9/14	町民の健康な生活に寄与する活動を進めるため、「食と健康」の健康増進に向けて、食生活・栄養に関する実態調査を鏡石町から委託を受けて実施した。
	Cytotechnology	原著論文のゲストレビューアー 1件
	Clinical Physiology and Functional Imaging	原著論文のゲストレビューアー 1件
	Children	原著論文のゲストレビューアー 1件
	Healthcare	原著論文のゲストレビューアー 1件
	Journal of Clinical Medicine	原著論文のゲストレビューアー 1件
	Journal of Applied Physiology	原著論文のゲストレビューアー 1件
星 千 歳	日本栄養改善学会東北支部学術総会	学術総会の運営スタッフとして協力した。 （2024年5月25日）
	チャレンジふくしま県民運動 大学と連携した食の広報・PR業務	チャレンジふくしま県民運動推進協議会主催。社員食堂向けのヘルシーメニューの開発と提供を行い、生活習慣病予防の啓発に携わった。 （2024年7月～2025年3月）
	鏡石町との地域連携事業 「食と健康に関する地域連携」	「食と健康」の健康増進に向けて、食生活・栄養に関する実態調査を鏡石町から委託を受けて実施した。 （2024年9月8日～9月14日）
	にはんまつ食育フェスタ	二本松市主催。「おいしく食べるって、からだにいい」をテーマとしたワークショップとクイズラリーに事業協力を行った。 （2024年12月1日）

氏名	審議会・委員会等名	職務・活動内容
角田 真佐枝	日本栄養改善学会 東北支部	第10回日本栄養改善学会 東北支部学術総会 発表「臨地実習における受け入れ側施設の要望と本学の教育の問題点」 2024年5月
	伊達市教育委員会	キラリ輝く女性講座・第1回学習会 講演「日々の食事で大事にしたいこと」 2024年5月
	鏡石町民健康における食生活状況と活動量（運動との関係）調査、鏡石町連携協定における食生活支援・健康支援調査事業	鏡石町健康福祉センターほかからかんにて調査に参加 2024年9月
	福島県栄養士会	第36回福島県栄養士会栄養研究会 発表「Free Styleリプレを導入し、健康な女子大生のグルコースgaily profileと低血糖の検証」 2024年12月
梅影 創	日本栄養士連盟 福島県支部	福島支部監事として連盟の普及活動の実践
	一般社団法人日本栄養経営実践協会東北支部	東北支部理事として栄養経営士普及活動の実践
梅影 創	福島県学校給食研究会栄養士部会相双部研修会	「糖質の働きとダイエットとの関係について」と題して講演を行った。
吉田 朱里	大学等の「復興知」を活用した人材育成基盤構築事業	『葛尾村における地域特産品開発と食農教育』として、村内でエゴマ、オヤマボクチ、コシアブラ、タラノキの栽培や商品開発等の活動を行った。
	『鏡石町民健診における食生活状況と活動量（運動との関係）調査』、鏡石町連携協定における食生活・健康支援調査事業 2024/9/8～9/14	町民の健康な生活に寄与する活動を進めるため、「食と健康」の健康増進に向けて、食生活・栄養に関する実態調査を鏡石町から委託を受けて実施した。
佐藤 朱莉	ハーバード大学福島スタディーツアー 講師 2025年1月11日	ハーバード大学公衆衛生大学院企画の福島スタディーツアーにおいて、日本食の料理教室を郡山女子大学同窓会館にて実施した。
柳下 結衣	ハーバード大学福島スタディーツアー 講師 2025年1月11日	ハーバード大学公衆衛生大学院企画の福島スタディーツアーにおいて、日本食の料理教室を郡山女子大学同窓会館にて実施した。
<b>【郡山女子大学短期大学部】</b>		
齋藤 美保子	郡山市美術品収集評価選定委員会	委員として美術館の運営を協議する（2月）と共に、同美術館の広報活動の学内窓口となった。
	福島県立美術館運営協議会	委員として郡山市立美術館の作品収集を協議する会議（2/19）に出席すると共に、同美術館の広報活動の学内窓口となった
會田 久仁子	ラジオ福島番組制作協力	月曜日朝8時20分からの放送番組「朝から全開！朝ゼミ ビジネスマン講座」の講師を務めた。令和6年5月および11月計8回分担当
	福島中央テレビ番組審議委員会	福島中央テレビ番組審議委員会に出席し、毎月提示される福島中央テレビ制作の番組について審議意見を述べている。
	福島県安全で安心な県づくりの推進会議	福島県知事より委嘱され令和4年10月から、県の安全で安心な県づくり推進および市町村県民への活動支援に対する意見助言のため「福島県安全で安心な県づくり推進会議」に出席している。
	郡山市環境審議会	郡山市長より委嘱され令和元年11月から、郡山市の環境の保全に関する基本的事項等について調査や審議を行っている。
	大学等の「復興知」を活用した人材育成基盤構築事業	郡山女子大学として採択され、事業名『葛尾村における地域特産品開発と食農教育』として、村内でエゴマ、オヤマボクチ、コシアブラ、タラノキの栽培や商品開発等の活動を行った。
	「オーガニックふくしまマルシェ2024」への協力	福島民報社より依頼を受け、イオンタウン郡山で開催された「オーガニックふくしまマルシェ2024」に協力した。300人分の芋煮を調整し提供した。令和6年9月14日（土）
	小野町健康まつり参加	小野町が主催する「小野町健康まつり」に出展し、小野町が勧める発酵食品を使った食品としてスイーツを販売した。令和6年10月27日（日）
	「親子料理教室～野菜でXmasトライ～」の開催	（公社）日本フードスペシャリスト協会令和6年度啓発活動推進事業として採択された「親子料理教室」を開催した。令和6年12月22日（日）
	海と日本プロジェクト「さばける塾 in ふくしま」	日本財団主催郡山女子大学短期大学部共催本学で開催した親子料理教室の運営にあたった。令和7年2月22日（日）
	3.11ふくしま追悼復興祈念行事『キャンドルナイト』への参加	県が主催する「キャンドルナイト」において、家庭での災害備蓄食品等の見直しを推奨するとともに災害時における食事および賞味期限の近い備蓄食品を日常的に利用したレシピを紹介しパネル発表を行った。令和7年3月11日（火）
源川 博久	郡山市廃棄物減量等推進審議会委員	郡山市の一般廃棄物の減量等をはじめとした廃棄物行政に関する審議委員として、郡山市一般廃棄物処理基本計画の改訂などに関して審議し、参考意見をとりまとめた。
	第21回（令和6年度）栄養士実力認定試験問題採用	一般社団法人全国栄養士養成施設協会の第21回（令和6年度）栄養士実力認定試験問題募集に応じ、食品学総論に2問、栄養学総論に1問採用された。
	海と日本プロジェクト「さばける塾 in ふくしま」	日本財団海と日本プロジェクト、郡山女子大学短期大学部共催、本学で開催した親子を対象とした「海と日本プロジェクト さばける塾 in ふくしま」において、「海を味わう学び」について講演した。（2025年2月22日）
	3.11ふくしま追悼復興祈念行事「キャンドルナイト」への参加	県が主催する「キャンドルナイト」において、家庭での災害備蓄食品等の見直しを推奨するとともに災害時における食事および賞味期限の近い備蓄食品を日常的に利用したレシピの紹介についてパネル発表を行った。（2025年3月11日）
小林 澄枝	大学等の「復興知」を活用した人材育成基盤構築事業	郡山女子大学として採択され、事業名『葛尾村における地域特産品開発と食農教育』として、村内でエゴマ、オヤマボクチ、コシアブラ、タラノキの栽培や商品開発等の活動を行った。
	葛尾村地域復興支援	葛尾村「あぜりあ市」および「標葉祭り」、「葛尾村盆踊り」、「かつらお感謝祭」の運営に協力した。葛尾村の特産品である凍みもちを利用した商品について、来場者に試食していただいた。（あぜりあ市2024年6月16日、標葉祭り2024年8月3日、盆踊り2024年8月14日、かつらお恵みの感謝祭2024年11月3日）
	NHK福島 「はまなかあいづTODAY」内「しらべてmeet!」放送	NHK福島放送の依頼を受け、テーマ・凍みもちをどうすれば後世に残せるか？その最新事情に迫る！の番組において、学科学生調理の様子やインタビューに答えた。（2024年8月15日（木）18時10分～19時）
	「オーガニックふくしまマルシェ2024」への協力	福島民報社より依頼を受け、イオンタウン郡山で開催された「オーガニックふくしまマルシェ2024」に協力し、300人分の芋煮を調整し提供した。（2024年9月14日）
	おのまち健康まつり2024	福島県田村郡小野町役場 産業振興課からの「おのまち健康まつり2024」出店の依頼を受け、発酵食品（酒粕・甘酒・味噌など）を使った健康に良いお菓子をテーマにクッキーやパウンドケーキ、マドレーヌ、フィンランシェを販売した。また、そのレシピ集を配布した。（2024年10月27日 小野町B&G海洋センターメインアリーナ）
	2024 ガス展お客様大感謝祭参加協力	株式会社東部ガス福島支社より依頼を受けマルシェブースにおいて、凍みもちアレンジ菓子や発酵食品を利用した菓子類の試食、販売を行った。（2024年11月2日～3日 郡山駅前マルシェブース）
	「Xmas親子料理教室」の開催	（公社）日本フードスペシャリスト協会令和6年度啓発活動推進事業の助成対象として採択された親子料理教室「キッズ・キッチン～野菜でXmasトライ～」を開催した。親子8組が参加し、調理体験を通して思い出に残る楽しいひと時を過ごした。（2024年12月22日 郡山女子大学 調理学実習室・ラーニングcommonsⅢ）

氏名	審議会・委員会等名	職務・活動内容
	郡山女子大学学生との「料理教室」の開催	葛尾村の特産物「凍みもち」を使用し、学生が開発したレシピを活用した料理教室を開催した。(2025年2月9日 葛尾村)
	「海と日本プロジェクトさばける塾inふくしま」の開催	福島中央テレビの依頼を受け、魚を実際にさばくこと、地域の海洋変化や魚種の返還を学ぶこと、さらに「海を味わう十の技法」による調理体験など日本の豊かな海の食文化を継承し、和を広げるイベントを開催した。親子10組が参加し「魚をさばく」体験や常磐ものなど海について学んだ。(2025年2月22日 郡山女子大学 調理学) 実習室・ラーニングコモンズⅢ)
	3.11ふくしま追悼復興祈念行事「キャンドルナイト」への参加	県が主催する「キャンドルナイト」において、家庭での災害備蓄食品等の見直しを奨励するとともに災害時における食事および賞味期限の近い備蓄食品を日常的に利用したレシピの紹介についてパネル発表を行った。要配慮者のための災害時の食事および備蓄品の準備についてパネル発表を行った。(2025年3月11日、郡山駅前広場)
	福島県立医科大学非常勤講師	「母子健康包括支援学」における特別講義の講師を務めた。
	会津若松市立第六中学校 健康教育講師	「受験期の食事・栄養の摂り方と肥満予防について」というテーマで講演を行った。(2024年11月15日 会津若松市立第六中学校)
	放送大学講師	「食べ物と健康」について面接授業を行った。(2024年12月7日～8日 学習センター)
金子 依里香	郡山市消費生活審議会委員	任期：令和6年11月1日～令和8年10月31日
	こおりやま広域連携中枢都市圏ビジョン懇談会構成員	こおりやま広域連携中枢都市圏ビジョン懇談会構成員として懇談会へ参加した。(2025年1月30日)
	大学等の「復興知」を活用した人材育成基盤構築事業	郡山女子大学として採択され、事業名『葛尾村における地域特産品開発と食農教育』として、村内でエゴマ、オヤマボクチ、コシアブラ、タラノキの栽培や商品開発等の活動を行った。
	葛尾村地域復興支援	葛尾村「あぜりあ市」および「標葉祭り」、「葛尾村盆踊り」、「かつらお感謝祭」の運営に協力した。葛尾村の特産品である凍みもちを利用した商品について、来場者に試食していただいた。(あぜりあ市2024年6月16日、オヤマボクチ・エゴマの定植2024年6月22日、標葉祭り2024年8月3日、盆踊り2024年8月14日、感謝祭2024年11月3日、エゴマ・オヤマボクチ刈取り2024年11月9日)
	令和6年度大学連携会議	葛尾村内で活動する大学（日本大学工学部、東北大学、東京大学、立命館大学）と今年度の村内での活動内容と次年度計画案について現地またはオンライン会議で報告し、意見交換を行った。(2024年8月8日、2025年1月24日)。
	東京農業大学主催「料理教室」への協力	相馬市立飯豊小学校で開催された枝豆を活用した料理教室に学生と参加し運営に協力した。(2024年8月30日 相馬市)
	「オーガニックふくしまマルシェ2024」への協力	福島民報社より依頼を受け、イオンタウン郡山で開催された「オーガニックふくしまマルシェ2024」に協力した。300人分の芋煮を調整し提供した。(2024年9月4日)
	「親子料理教室～野菜でXmasトライ～」の開催	(公社)日本フードスペシャリスト協会令和6年度啓発活動推進事業として採択された「親子料理教室」を開催した。(2024年12月22日)
	郡山女子大学学生との「料理教室」の開催	葛尾村で栽培した「凍みもち」を使用し、学生が開発したレシピを活用した料理教室を開催した。(2025年2月9日 葛尾村)
	海と日本プロジェクト「さばける塾 in ふくしま」	日本財団と本学科が共催し、本学で開催した親子料理教室において運営を務めた。(2025年2月22日)
	復興の灯火プロジェクト	東日本大震災の記憶と地域文化の継承を目的としたプロジェクトの運営を担当した。
	3.11ふくしま追悼復興祈念行事「キャンドルナイト」への参加	県が主催する「キャンドルナイト」において、家庭での災害備蓄食品等の見直しを推奨するとともに災害時における食事および賞味期限の近い備蓄食品を日常的に利用したレシピの紹介についてパネル発表を行った。(2025年3月11日)
	放送大学講師	「健康寿命延伸のための生活と運動」について面接授業を行った。(2024年11月9日・10日 福島学習センター)
澤渡 優喜	「親子料理教室～野菜でXmasトライ～」の開催	(公社)日本フードスペシャリスト協会令和6年度啓発活動推進事業として採択された「親子料理教室」を開催した。(2024年12月22日)
	3.11ふくしま追悼復興祈念行事「キャンドルナイト」への参加	県が主催する「キャンドルナイト」において、家庭での災害備蓄食品等の見直しを推奨するとともに災害時における食事および賞味期限の近い備蓄食品を日常的に利用したレシピの紹介についてパネル発表を行った。(2025年3月11日)
	放送大学 非常勤講師	2024年6月1日、2日に「入門食品微生物学」の講義を行った。
	第21回(令和6年度)栄養士実力認定試験問題採用	一般社団法人全国栄養士養成施設協会の第21回(令和6年度)栄養士実力認定試験問題募集に応募し、食品学総論、食品学各論の問題が採用された。
	郡山食品工業団地協同組合	食品安全衛生講習会の講師を担当。(2024年8月20日、2025年2月27日)
善方 美千子	大学等の「復興知」を活用した人材育成基盤構築事業	郡山女子大学として採択され、事業名『葛尾村における地域特産品開発と食農教育』として、村内でエゴマ、オヤマボクチ、コシアブラ、タラノキの栽培や商品開発等の活動を行った。
	葛尾村地域復興支援	葛尾村「葛尾村盆踊り」の運営に協力した。葛尾村の特産品である凍みもちを利用した商品について、来場者に試食していただいた。(オヤマボクチ・エゴマの定植2024年6月22日、盆踊り2024年8月14日)
	小野町健康まつり参加	小野町が主催する「小野町健康まつり」に出展し、小野町が勧める発酵食品を使った食品としてスイーツを販売した。令和6年10月27日(日)
	「オーガニックふくしまマルシェ2024」への協力	福島民報社より依頼を受け、イオンタウン郡山で開催された「オーガニックふくしまマルシェ2024」に協力した。300人分の芋煮を調整し提供した。(2024年9月4日)
	「親子料理教室～野菜でXmasトライ～」の開催	(公社)日本フードスペシャリスト協会令和6年度啓発活動推進事業として採択された「親子料理教室」を開催した。(2024年12月22日)
	令和6年度(第21回)栄養士実力認定試験問題採用	一般社団法人全国栄養士養成施設協会の令和6年度(第21回)栄養士実力認定試験問題作成に応募し、給食管理論の問題が採用された。(2025年1月10日)
	3.11ふくしま追悼復興祈念行事「キャンドルナイト」への参加	県が主催する「キャンドルナイト」において、家庭での災害備蓄食品等の見直しを推奨するとともに災害時における食事および賞味期限の近い備蓄食品を日常的に利用したレシピの紹介についてパネル発表を行った。(2025年3月11日)
加藤 雅子	「うめめん」を活用したレシピ開発支援	健康栄養学科学学生と共に、アルファ電子の「うめめん」を活用した調理実習、レシピ開発などを行った。9月12、13日には、ドリームラボ上伊豆島にて代表学生のレシピを活用し試食会を実施した。
	「オーガニックふくしまマルシェ2024」への協力	福島民報社より依頼を受け、イオンタウン郡山で開催された「オーガニックふくしまマルシェ2024」に協力した。300人分の芋煮を調整し提供した。(2024年9月7日)
	小野町健康まつり参加	小野町が主催する「小野町健康まつり」に出展し、小野町が勧める発酵食品を使った食品としてスイーツを販売した。(2024年10月27日)
	「親子料理教室～野菜でXmasトライ～」の開催	(公社)日本フードスペシャリスト協会令和6年度啓発活動推進事業として採択された「親子料理教室」を開催した。(2024年12月22日)

氏名	審議会・委員会等名	職務・活動内容
	福島中央テレビ 取材協力	冬野菜（大根、キャベツ、ねぎ、白菜）の適切な保存方法について紹介した。（放送日：2025年1月17日）
	海と日本プロジェクト「さばける塾 in ふくしま」	海と日本プロジェクトin福島実行委員会、日本さばけるプロジェクト実行委員会主催、日本財団海と日本プロジェクト共催、郡山女子大学短期大学部協力のもと、本学で開催した親子料理教室において運営を務めた。（2025年2月22日）
	3.11ふくしま追悼復興祈念行事「キャンドルナイト」への参加	県が主催する「キャンドルナイト」において、家庭での災害備蓄食品等の見直しを推奨するとともに災害時における食事および賞味期限の近い備蓄食品を日常的に利用したレシピの紹介についてパネル発表を行った。（2025年3月11日）
上 遠 野 伶	大学等の「復興知」を活用した人材育成基盤構築事業	郡山女子大学として採択され、事業名「葛尾村における地域特産品開発と食農教育」として、村内でエゴマ、オヤマボクチ、コシアブラ、タラノキの栽培や商品開発等の活動を行った。
	葛尾村地域復興支援	葛尾村「あぜりあ市」および「標葉祭り」、「葛尾村盆踊り」、「かつらお感謝祭」の運営に協力した。葛尾村の特産品である凍みもちを利用した商品について、来場者に試食していただいた。（あぜりあ市2024年6月16日、標葉祭り2024年8月3日、盆踊り2024年8月14日、感謝祭2024年11月3日、エゴマ・オヤマボクチ刈取り2024年11月9日、料理教室2025年2月9日）
	「オーガニックふくしまマルシェ 2024」への協力	福島民報社より依頼を受け、イオンタウン郡山で開催された「オーガニックふくしまマルシェ 2024」に協力した。300人分の芋煮を調整し提供した。（2024年9月4日）
	小野町健康まつり参加	小野町が主催する「小野町健康まつり」に出展し、小野町が勧める発酵食品を使った食品としてスイーツを販売した。令和6年10月27日（日）
	「親子料理教室～野菜でXmasトライ～」の開催	（公社）日本フードスペシャリスト協会令和6年度啓発活動推進事業として採択された「親子料理教室」を開催した。（2024年12月22日）
	3.11ふくしま追悼復興祈念行事「キャンドルナイト」への参加	県が主催する「キャンドルナイト」において、要配慮者のための災害時の食事および備蓄品の準備についてパネル発表を行った。（2025年3月11日）
大 野 絵梨子	大学等の「復興知」を活用した人材育成基盤構築事業	郡山女子大学として採択され、事業名「葛尾村における地域特産品開発と食農教育」として、村内でエゴマ、オヤマボクチ、コシアブラ、タラノキの栽培や商品開発等の活動を行った。
	葛尾村地域復興支援	葛尾村「あぜりあ市」および「標葉祭り」、「葛尾村盆踊り」、「かつらお感謝祭」の運営に協力した。葛尾村の特産品である凍みもちを利用した商品について、来場者に試食していただいた。（あぜりあ市2024年6月16日、オヤマボクチ・エゴマの定植2024年6月22日、標葉祭り2024年8月3日、感謝祭2024年11月3日、料理教室2025年2月9日）
	令和6年度（第21回）栄養士実力認定試験への問題応募	令和6年度（第21回）栄養士実力認定試験において問題を作成・応募をした。（2024年6月13日）
	「オーガニックふくしまマルシェ 2024」への協力	福島民報社より依頼を受け、イオンタウン郡山で開催された「オーガニックふくしまマルシェ 2024」に協力した。300人分の芋煮を調整し提供した。（2024年9月4日）
	小野町健康まつり参加	小野町が主催する「小野町健康まつり」に出展し、小野町が勧める発酵食品を使った食品としてスイーツを販売した。令和6年10月27日（日）
	「親子料理教室～野菜でXmasトライ～」の開催	（公社）日本フードスペシャリスト協会令和6年度啓発活動推進事業として採択された「親子料理教室」を開催した。（2024年12月22日）
	3.11ふくしま追悼復興祈念行事「キャンドルナイト」への参加	県が主催する「キャンドルナイト」において、家庭での災害備蓄食品等の見直しを推奨するとともに災害時における食事および賞味期限の近い備蓄食品を日常的に利用したレシピの紹介についてパネル発表を行った。（2025年3月11日）
磯 部 哲 夫	会津演奏家連盟	代表 各種コンサート、音楽鑑賞教室の企画、運営。
	全日本音楽教育研究会	会員 音楽教育についての研究
	福島県声楽協会	会員 歌唱領域についての研究
	高声会	会員 歌唱領域についての研究
	大学・短期大学基準協会	評価員 評価チームの責任者として短期大学の認証評価を担当
	放送大学	講師 「声楽曲と音楽修辞」の講義を担当
横 溝 聡 子	郡山市立公民館運営審議会	委員長 委員会運営及び郡山市立公民館運営の諮問事項に関する協議を行った。
	郡山市青少年健全育成推進協議会	委員 令和7年2月4日（火）会場：郡山市立中央公民館 多目的ホール 令和6年度郡山市「少年の主張」コンクール発表大会に出席。
	第33回東北青少年音楽コンクール福島地区大会	審査員 令和6年5月26日（日）会場：三春交流館まほらホール 福島地区大会において審査員を務めた。
	第34回日本クラシック音楽コンクール福島予選会	審査員 令和6年8月6日（火）会場：郡山市民文化センター 日本クラシック音楽コンクールピアノ部門予選会において審査員を務めた。
山 上 裕 子	郡山市 子ども・子育て会議 委員	審議に参加した
	郡山市 放課後児童クラブ指定管理者選定審議会 委員	副委員長として審議に参加した
	宇都宮市 指定管理者選考等専門 委員	審議に参加した
折 笠 国 康	福島県保育協議会会津支部	講演会講師 令和6年度（園）・認定こども園協議会 会津支部施設長・保育者等研修会 演題「子どもの発達と自尊感情」 日時：令和6年11月15日（金） 場所：郡山総合福祉センター
永 瀬 悦 子	福島県子ども未来局	福島県保育士等キャリアアップ研修『乳児保育』 9月3日（火） 場所：福島県郡山労働福祉会館 対面形式 10月25日（金） ※オンライン形式 11月18日（月） ※オンライン形式
	福島県私立幼稚園・認定こども園連合会	保育士等キャリアアップ研修 テーマ「現代社会における子どもの育ち」 10月18日（金） ※オンライン形式
松 田 理 香	郡山警察署協議会	委員 警察施設等の視察と警察署長の諮問事項について協議した
柴 田 卓	・日本自然保育学会	理事 事務局長／副会長
	・日本自然保育学会第9回大会実行委員会	委員 日本自然保育学会第9回大会実行委員として運営を担った。
	・子ども里山教育活動推進検討会（福島県）	会長 福島県子ども里山教育・自然保育支援事業について検討を行い、保育者研修（自然保育）を行った。
	・小野町 自然を活かした保育活動	講師 「わくわくどきどきたんけんたい」の指導を行った。
	・三春町 自然を活かした保育活動	講師 「三春町ちびっこたんけんたい」の指導を行った。
	・国見町 自然を活かした保育活動	講師 国見町立くにみ幼稚園の園児を対象に自然遊びの指導を行った。

氏名	審議会・委員会等名	職務・活動内容
宇治和子	・福島県民の森フォレストパークあだたら「森のようちえん」	講師 福島県民の森フォレストパークあだたら主催「森のようちえん」のコーディネーター及び指導を行った。
	・葛尾村 自然を活かした保育活動	講師 葛尾村立葛尾幼稚園の園児対象に自然遊びの指導を行った。
	奈良女子大学大学院 福島県子ども・子育て会議委員 小野町地域創生総合戦略推進会議委員	非常勤講師。公認心理師養成科目「福祉分野に関する理論と支援の展開」を担当した。 「福島県こどもまんなかプラン」の素案検討、パブリックコメントの確認を行った。 「小野町まち・ひと・しごと創生総合戦略」に掲げる34事業の評価と、「小野町過疎地域持続的発展計画」により取り組んだ事業の報告を聞き、効果検証を行った。
	令和6年度 東京都生活文化スポーツ局 東京ウィメンズプラザ 職務関係者研修（第3回子供）講師 令和6年度 高知県男女共同参画DV防止啓発講演会 講師	令和6年7月31日（水）オンライン形式 講演「配偶者暴力（DV）被害者支援～親と子のための早期発見と適切な対応～」 令和6年11月9日（土） 講演「DVからの回復～再発する力を育むサポート・ケア支援～」
安部高太郎	東京都の男女平等参画等の現状等に関する調査・分析等業務のアドバイザー就任	東京都の男女平等参画に関する事業データ（特にDV関連）を検討し、課題等を指摘した。
深谷悠里絵	令和6年度 三春町 幼児教育アドバイザー派遣事業 講師 開南幼稚園 評議員会	令和6年12月20日（金）@三春町立岩江こども園 新設されるこども園の園舎を保育者と共に見学し、保育環境の構成に関する指導・助言を行った。 評議員 2024年5月30日 場所：開南幼稚園 昨年度の活動内容と予算について報告を受け、今年度の予算について審議を行った。幼稚園の今年度の方針について説明を受けた。 評議員 2024年10月16日 場所：開南幼稚園 これまでの取り組みと今後の法人運営の在り方について説明を受け、審議を行った。
山脇功次	西成ボッチャカップ実行委員会 大阪市西成区社会福祉協議会 西成区ボランティア・市民活動センター 郡山市私立幼稚園・認定こども園連合会 「幼稚園・認定こども園フェア」	司会・運営参加・支援。大阪市西成区の障害者スポーツの推進活動。 アドバイザー・大阪市西成区の地域福祉推進のための諸活動について、アドバイザー業務に従事。 うすい百貨店で開催された郡山市私立幼稚園・認定こども園連合会が主催する「幼稚園・認定こども園フェア」の運営業務。
佐々木郁子	公益社団法人 福島県私立幼稚園・認定こども園連合会 第1回園長・主任研修会 大阪府堺市子ども青少年 子育て支援部幼保支援課主催 研修会  公益社団法人 福島県私立幼稚園・認定こども園連合会 第7回新任教員研修会 福島県白河市子ども育成課保育部 研修会 福岡県久留米市保育協会保育士会 研修会	講師 2024年6月5日 「実習指導についてのディスカッション～県内養成校の先生方と共に～」 講師 2024年6月21日 「不適切な保育、虐待等に関する理解と意識向上、よりよい保育に向けた日々の保育実践の振り返りについて」 講師 2024年10月16日 「保育現場における不適切保育を考える」 講師 2024年10月25日 「保育現場における不適切な保育について～日々の実践の振り返り～」 講師 2025年3月6日 「次年度の保育へ活かすための年度末の省察と各種記録の作成」
桑野聡	郡山市市史編集推進委員会 郡山市勤労青少年ホーム運営委員会	令和4年9月より郡山市史の続編5（2012～2021）作成のために「教育・文化ワークショップ」の委員として編別構成の決定、執筆者の選定・依頼などを検討し、作業を進めた。 令和5年6月より中央公民館の併設組織である「勤労青少年ホーム」の現状と課題について年2回の運営委員会に参加して活動支援を行っている。8月の運営委員会で、現在別組織の公民館と勤労青少年ホームの統合案を最終確認し、提出した。
何燕生 （福島寅太郎）	武漢大学文明対話高等研究院『文明対話論叢』編集委員 北京大学『北大仏学』編集委員 香港中文大学『人間仏教研究』編集委員 閩南佛学院『海潮音』（中国語・英語版）編集委員 Journal of Buddhist Philosophy（SUNY Press）Editorial Board 中山大学『漢語仏学評論』編集委員 印度学宗教学会 学会誌『論集』編集委員 印度学宗教学会 常任理事 日本宗教学会評議員 文部科学省共同研究拠点京都大学人文科学研究所共同研究課題 責任者 日本東アジア実学研究会 理事	論文の査読、編集と企画 論文の査読、編集と企画 論文の査読、編集と企画 論文の査読、編集と企画 論文の査読、編集と企画 論文の査読、編集と企画 論文の査読、編集と企画 学会の運営 学会の運営 「禅の言葉と翻訳」研究班（略称「禅研究班」）の企画、運営 研究会の運営
齊藤弘久	福島県水彩画会 埼玉県版画家協会	監事・版画部会員 運営業務、審査 副会長・会員
知野愛	郡山市男女共同参画審議会 本宮市男女共同参画審議会 公益財団法人郡山市観光交流振興公社評議員会 こおりやま女性の活躍推進ネットワーク会議 日本家政学会生活経営学部会常任委員	委員・第三次こおりやま男女共同参画プラン（改訂版）実施計画他に関する審議会に出席 アドバイザー・本宮市第三次男女共同参画基本計画他に関する審議会に出席 評議員・郡山市観光交流振興公社の事業運営等を話し合う評議員会に出席 会員・こおりやま女性の活躍推進ネットワーク会議議題について回答書を提出 常任委員（庶務）として年数回の常任委員会会議に出席、部会事務局運営の全般に携わる
小松太志	いっしょに考える『福島、その先の環境へ。』 チャレンジ・アワード 審査委員会 3.11 ふくしま追悼復興祈念行事 「キャンドルナイト」実施業務委託に係る審査委員会 アーバンデザインセンターフロンティア郡山 復興の灯火プロジェクト	委員 環境省による福島県の環境に関する取組の提案、復興へのアイデア、活動などをまとめた作品を募集するコンテストの審査。 委員 福島県 県中地方振興局によるふくしま追悼復興祈念行事「キャンドルナイト」実施業務委託に係る審査。 役員 まちづくり推進団体の企画・運営。 事務局 東日本大震災の記憶と地域文化の継承を目的としたプロジェクトの企画・運営。
山口猛	福島県教育委員会 福島県生徒指導アドバイザー	情報モラルの観点から、講演や研修会等への支援を行った。 講演等3回実施（7/5逢瀬中学校、7/8富田東小学校、1/31渡利中学校）

氏名	審議会・委員会等名	職務・活動内容
仲田 佐和子	公益財団法人郡山市文化・学び振興公社	理事 市民文化の振興、文化財の調査研究及び労働福祉の増進を行う公益法人において、文化財関連の理事として理事会において予算等を審議した。
黒 沼 令	福島県美術家連盟評議委員 岩手県高等学校文化連盟 福島県彫刻会副会長 郡山市総合美術展審査員 伊達市梁川美術館ワークショップ講師 喜多方市美術館「ふるさとの風景展」審査員	福島県美術家連盟の運営業務を行った。 楯（連盟賞、テーマ賞、ポスター賞）、トロフィ（功労賞、連盟賞）の原型制作を行った。 第60回福島県彫刻会展の運営業務を行った。 第68回郡山市総合美術展、彫刻・工芸部門の審査を行った。 梁川美術館30周年記念展関連イベント「体験しよう！ 铸造ワークショップ」の講師を担当した。 喜多方市美術館主催「第30回ふるさとの風景展」の審査を担当した。
佐藤 愛未	福島県文化振興事業団評議委員会 郡山市史編さん推進委員会 郡山市文化財保護審議会	評議委員を務め、令和6年（2024）6月25日の評議委員会に出席し、事業団の運営を協議した。 『郡山市史』全編改訂ワークショップ委員を務め、改訂箇所に関する確認および新編作成に関する検討を行った。 審議会委員を務め、令和6年（2024）7月8日の第1回審議委員会、12月16日の第2回審議委員会に出席し、同市文化財の指定に関する審議を行った。
佐々木 達矢	郡山市個人情報保護審議会 郡山市情報公開審査会 社会情報学会 Communications Physics, Proceedings of the Royal Society B, Physical Review E Program Committee (PC) for the International Conference on Artificial Life in 2025 ("ALIFE 2025")	委員 諮問に応じ、審査・答申と情報保護評価の点検を行う。個人情報保護の推進への意見を述べる。 委員 諮問に応じ、審査・答申を行う。情報公開の促進に関する事項について意見を述べる。 総務委員会の事務局委員（任期：2023年4月～2027年3月）を務める。 左記の国際ジャーナル（3誌）に投稿された原著論文の査読者を務める。 国際会議ALIFE 2025のプログラム委員を務める。
米本 順子	MOA美術館郡山児童作品展 復興の灯火プロジェクト	郡山市内の小学生を対象としたコンクール出品作の審査。 東日本大震災の記憶と地域文化の継承を目的としたプロジェクトの運営を担当した。